2024年度日本政府（文部科学省）奨学金留学生

教　員　研　修　留　学　生

コ　ー　ス　ガ　イ　ド

②

番号	大　学　名	所　在　地	掲載ページ
24	静岡大学	静岡県静岡市	…… 1
25	愛知教育大学	愛知県刈谷市	…… 3
28	京都教育大学	京都府京都市	…… 8
29	大阪大学	大阪府吹田市	…… 13
30	大阪教育大学	大阪府柏原市	…… 16
31	兵庫教育大学	兵庫県加東市	…… 21
32	神戸大学	兵庫県神戸市	…… 24
33	奈良教育大学	奈良県奈良市	…… 26
34	奈良女子大学	奈良県奈良市	…… 32
36	鳥取大学	鳥取県鳥取市	…… 34
37	島根大学	島根県松江市	…… 37
38	岡山大学	岡山県岡山市	…… 43
39	広島大学	広島県東広島市	…… 49
40	鳴門教育大学	徳島県鳴門市	…… 56
41	香川大学	香川県高松市	…… 61
42	愛媛大学	愛媛県松山市	…… 64
44	福岡教育大学	福岡県宗像市	…… 68
46	長崎大学	長崎県長崎市	…… 70
47	熊本大学	熊本県熊本市	…… 74
49	宮崎大学	宮崎県宮崎市	…… 78

静岡大学（静岡県）

豊かな自然環境で学ぶ、バランスのとれた日本語教育と専門教育

◇大学紹介

①大学の概要

静岡大学は、人文社会科学部、教育学部、情報学部、理学部、工学部、農学部、グローバル共創科学部からなる総合大学であり、大学院としては教育学研究科はじめ4研究科があります。また、教育学部の附属施設には、小中学校、特別支援学校、幼稚園があります。

静岡市は静岡県の県庁所在地であり、その人口は70万人以上です。南方には太平洋、北方には富士山が眺望でき、日本のほぼ中心に位置します。また、年間を通して暖かく、様々な文化的機会に触れることができます。

②国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2023年度：356人

2022年度：394人

2021年度：372人

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2023年度：0人

2022年度：0人

2021年度：1人

◇教員研修コースの概要・特色

①研修コースの特色

1982年から教員研修留学生の受け入れを開始して以来、バランスの取れた日本語教育と専門教育が行われるよう努めてきました。

②受入定員

2名

③奨学金支給期間

2024年10月～2026年3月(国費奨学金)

④コースの修了要件

概ね週10時間の演習・論文指導等を受講することが必要である。中間発表、最終発表、最終レポートの提出をもって修了とする。

⑤研修コースの概要

・日本語教育（国際連携推進機構で実施）

１）日本語研修コース（日本語ゼロ学生）
週10クラス

２）日本語教育プログラム

・初級（日本語２）　週3クラス
・中級前半(日本語３）　週4クラス
・中級後半（日本語４）　週4クラス
・上級（日本語５）　週2クラス

・専門教育（主に2025.4月～2026.3月）

留学生の希望する研究テーマをもとに、その分野の担当教員が指導教員となり、研究指導を行います。希望があれば、研究分野以外の講義等の受講も認められます。
開講言語は日本語です。

・見学・地域交流等の参加型科目

教育プログラムの一環として附属学校を訪問し、生徒・児童と交流することができます。

◇修了生へのフォローアップ

本国に帰国後、要請があれば、指導教員がＥメール等で教育実践や研究の助言を行う。タイ・インドネシア・ベトナムでは静岡大学海外同窓会を組織し、修了生も参加している

◇宿　舎

〇宿舎数

・単身用：95室
・夫婦用：若干数
・世帯用：若干数

〇宿舎費

単身用・入居にかかる費用：13,200円
　　・宿舎料等（月額）：約27,400円
夫婦用・入居に係る費用：32,000円
　　・宿舎料等（月額）：約42,000円
世帯用・入居に係る費用：34,000円
　　・宿舎料等（月額）：約51,600円

〇宿舎設備・備品

（単身用の場合）
・5人1組によるユニット制
個室内：机、椅子、ベッド、ロッカー
ユニット内：ダイニング、キッチン、シャワー、トイレ、洗濯機、乾燥機、冷蔵庫

〇宿舎周辺の生活情報、通学時間

大学までの距離は約２kmであり、バスや自転車で15分の距離です。
近隣にスーパーマーケット・コンビニエンスストアもあり、落ち着いた環境です。

◇問合せ先

大学所在地

〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷836

担当部署：静岡大学教育学部学務係
連絡先TEL：(054)238-4571
　　FAX：(054)237-6254
E-mail: edgakumu@adb.shizuoka.ac.jp
静岡大学：
http://www.shizuoka.ac.jp/

大学名： 静岡大学（大学番号24）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
24001	藤井 道彦 教授	fujii.michihiko@shizuoka.ac.jp	技術教育	技術教育、栽培、農業教育、環境教育	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語／英語	１人	ある程度の英語能力 マラウイ１名 ガーナ　1名

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☑を付けてください。

愛知教育大学（愛知県）

高度で実践的な教育・指導を実施

◇大学紹介

①大学の概要

愛知教育大学は、学術の中心として、深く専門の学芸を教授研究するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する学問の府として、教育研究活動を通して世界の平和と人類の福祉及び文化と学術の発展に寄与することを目指しています。

教育学部は、教員免許の取得が卒業要件の「学校教員養成課程」と、教員とともに子どもの教育を支える専門職育成のための「教育支援専門職養成課程」で構成されています。

大学院教育学研究科は、教育実践高度化専攻（学校マネジメントコース、教科指導重点コース、児童生徒発達支援コース、地域・教育課題解決コース）と教育支援高度化専攻（臨床心理学コース、日本型教育グローバルコース）で構成され、学校・地域及び教育関係諸機関との連携を活かしつつ、更なる学校教育の質的向上を図ることを目的とし、現職教員、教育関係者、社会人等も対象に教育実践に活かせる研究能力の養成を行っています。また、教育実践の場として、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園が附設されています。

本学のある刈谷市内は、トヨタグループ企業はじめ民間企業が多数あり、ものづくり教育にも適した環境にあります。

②国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2023年度：68

2022年度：66

2021年度：43

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2023年度：8

2022年度：5

2021年度：2

◇教員研修コースの概要・特色

①研修コースの特色

教員養成大学としての特色を活かして学校教育に関する理論と実践を融合した指導を行います。

②受入定員

8名

③奨学金支給期間

2024年10月～2026年3月

④コースの修了要件

指導教員によって異なりますが、週5コマ以上の講義・演習を受講し、修了時には修了報告書を提出することが必要です。

⑤研修コースの概要

・日本語教育

1. 文部科学省が指定する日本語コース（名古屋大学）で10～3月の半年間の日本語教育を受けます。
2. 4月からは本学において日本語の初級・中級・上級・作文・漢字などの授業を受講することができます。

・専門教育　【1年コースのみ】

1. 希望する研究テーマにより、指導教員が個別に研修を行います。
2. 教員研修留学生用の授業科目は開設していませんが、学部又は大学院の授業を受けることができます。
3. 指導教員の指導を受け、修了報告書を作成します。

・実習・見学・地域交流等の参加型科目

以下のプログラムを用意しています。

1. 附属学校の授業への参加・見学
2. 地域の学校での児童・生徒との交流活動
3. 日本人学生が企画する学内での交流活動
4. 外国人留学生を対象とした見学旅行
5. 地域の諸団体が行う日本文化体験等の行事

・その他

日本人学生の学習チューターまたは日本語チューターがサポートします。

◇修了生へのフォローアップ

修了後、国際交流センターや指導教員による
個別相談対応をしております。

◇宿　舎

〇宿舎数
・学生寮単身用：男子寮 4部屋　女子寮 4部屋
・夫婦用：なし
・世帯用：なし

〇宿舎費　※宿舎費の前納は不要です。
・単身用　22,000円程度（月額）
ただし、宿舎費は電気等の使用量によりかわることがあります。

〇宿舎設備・備品
居室には以下の設備・備品を完備しております。
・机
・椅子
・本棚
・クローゼット
・ベッド（マットレスなし）
・Wi-Fiルーター
・エアコン
・カーテン
・照明

共有部には以下の設備・備品を完備しております。
・玄関（靴箱、傘立て、メールボックス）
・ダイニング（机、椅子、エアコン）
・キッチン（シンク・IHクッキングヒーター・冷蔵庫・電子レンジ・電気ケトル）
・浴室（シャワールーム）
・トイレ（シャワー付き便器）
・ランドリー（洗濯機・乾燥機）
・洗面（鏡、コンセント、洗面台）
・トランクルーム

※本学の宿舎は単身部屋のみです。ご家族であっても同居はできません。
※宿舎は全館禁煙です。動物の飼育は禁止しております。

〇宿舎周辺の生活情報、通学時間
学生寮はキャンパス内にあります。徒歩約10分のところにコンビニエンスストアやスーパーマーケットがあります。最寄りの鉄道の駅(知立駅)まではバスで約20分です。

◇問合せ先

大学所在地　〒448-8542
愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1

担当部署　愛知教育大学
国際企画課　国際交流係

連絡先
TEL: 0566-26-2179、2178
FAX: 0566-26-2711
E-mail: kokusaikoryu@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

ホームページ:
http://www.aichi-edu.ac.jp/
http://www.aichi-edu.ac.jp/cie/

大学名： 愛知教育大学（大学番号25）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去５年間の受入国、人数）
25001	中野 真志 教授	snakano@auecc.aichi-edu.ac.jp	生活科学教育・総合生活	生活科、総合的な学習に関する論理的・実践的研究	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語 英語	１人	計画的な研究テーマを有していること。 十分な日本語能力または英語能力を有していること。 （インドネシア１）
25002	青柳 まゆみ 准教授	maoyagi@auecc.aichi-edu.ac.jp	特別支援教育	視覚障害教育	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語 英語	１人	明確な研究テーマを有していること。 十分な日本語能力または英語能力を有していること。
25003	岩田 吉生 教授	yiwata@auecc.aichi-edu.ac.jp	特別支援教育	聴覚障害児教育	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	１人	明確な研究テーマを有していること。 講義内容を理解するのに十分な日本語能力があること。
25004	竹川 慎哉 准教授	takekawa@auecc.aichi-edu.ac.jp	教育方法学	日本の教育実践（授業づくり）に関する理論的・実践的研究	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語 英語	１人	研究を進める上で十分な日本語能力または英語能力を有していること。 （メキシコ１、ボツワナ１、ブラジル１）
25005	砂川 誠司 講師	sunagawa@auecc.aichi-edu.ac.jp	国語教育	メディアリテラシー	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	１人	母語教育に関する明確な研究テーマを有すること。 講義内容を理解するのに十分な日本語能力があること。
25006	北野 浩章 教授	kitano@auecc.aichi-edu.ac.jp	言語学・日本語学	日本語学、または一般言語学（留学生の母語の記述研究、対照言語学、談話と文法など）	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語 英語	２人	日本語学または言語学の概論を一通り終えていること。 （モンゴル１、キルギス１、スリランカ１）
25007	建内 高昭 教授	ttake@auecc.aichi-edu.ac.jp	英語教育	英語教育、英語教員養成	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語 英語	１人	英語教育に関わる研究テーマを有していること。 （メキシコ１、スペイン１、コスタリカ１、フィリピン１、東ティモール１、ミャンマー１、ケニア１）
25008	小谷 健司 教授	kodani@auecc.aichi-edu.ac.jp	数学	数学教材研究	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語 英語	１人	中学または高等学校の数学教員
25009	山田 篤史 教授	yamada@auecc.aichi-edu.ac.jp	数学教育	数学教育に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語 英語	１人	数学教育に関する明確なテーマを有すること。 十分な日本語能力か英語能力を有すること。 （ガーナ１、韓国１）
25010	青山 和裕 准教授	kaoyama@auecc.aichi-edu.ac.jp	数学教育	数学教育に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語 英語	１人	数学教育に関する明確なテーマを有すること。
25011	岸 康弘 教授	ykishi@auecc.aichi-edu.ac.jp	数学	数学教材研究	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語 英語	１人	中学または高等学校の数学教員

25012	野崎 浩成 教授	nozaki@auecc.aichi-edu.ac.jp	情報教育学・教育工学	教育とコンピュータに関する諸領域の論理的な研修、講義・演習への参加と個別指導を中心とした研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 英語	２人	講義を理解できる日本語能力、各専門領域の基礎的な能力を有していること。明確な研究テーマを有していること。（シンガポール１、ベナン１、サウジアラビア１、インドネシア１、ケニア１、マラウイ１）
25013	梅田 恭子 教授	kumeda@auecc.aichi-edu.ac.jp	情報教育学	教育の情報化に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 英語	１人	教育の情報化に興味があり、明確な研究テーマを有していること。十分な日本語能力か英語能力を有していること。(中国2、インドネシア1、シンガポール1、チュニジア1)
25014	江島 徹郎 教授	tejima@auecc.aichi-edu.ac.jp	情報教育学	教育の情報化	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 英語	１人	教育の情報化に関心のある者 （メキシコ１、インドネシア１）
25015	大鹿 聖公 教授	ohshika@auecc.aichi-edu.ac.jp	理科教育・環境教育・ESD/SDGs	理科教育に関する研究 環境教育・ESD/SDGsに関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 英語	１人	明確な研究テーマ、コミュニケーション可能な日本語能力または英語能力を有していること。 （ガーナ１、 パキスタン１、ペルー１）
25016	星 博幸 教授	hoshi@auecc.aichi-edu.ac.jp	地球科学・地学教育	地球科学教育に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 英語	１人	地球科学または地学教育に関連する明確な研究テーマを有していること。英語または日本語で会話ができること。 （インド１、フィリピン１）
25017	北村 一浩 教授	kzkita@auecc.aichi-edu.ac.jp	機械工学	技術科内容学（機械工学）	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 英語	１人	英語でコミュニケーション可能であること。 機械工学の基礎的な知識を有していること。
25018	鎌田 敏之 教授	tkamada@auecc.aichi-edu.ac.jp	情報教育学	ITを活用した教育に関する理論と応用	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 英語	１人	明確な研究テーマを有していること。 講義を理解できる日本語能力または英語能力を有していること。
25019	磯部 征尊 准教授	masataka@auecc.aichi-edu.ac.jp	レッスンスタディー（教師教育）	カリキュラム・マネジメントに関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 英語	１人	教師教育や校内研修の在り方に興味・関心を有すること。 （インドネシア２）
25020	野平 慎二 教授	nobira@auecc.aichi-edu.ac.jp	教育学	教育哲学、道徳教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 英語	１人	明確な研究テーマを有していること。 十分な日本語能力または英語能力を有していること。 （韓国１、インドネシア１、トンガ１）
25021	平野 俊英 教授	schirano@auecc.aichi-edu.ac.jp	理科教育	理科の教科課程や学習指導に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 英語	１人	理科教育に関する明確な研究テーマを有すること。
25022	中野 博文 教授	hnakano@auecc.aichi-edu.ac.jp	有機化学	有機化学研究およびその教材研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 英語	１人	研究を進める上で必要な化学、英語あるいは日本語の能力を有すること。（カンボジア２、フィリピン１）
25023	岩山 勉 教授	tiwayama@auecc.aichi-edu.ac.jp	理科教育・物理学	理科（物理分野）における教材開発	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 英語	１人	明確な研究テーマ、コミュニケーション可能な日本語能力または英語能力を有していること。
25024	新山王 政和 教授	mshinza@auecc.aichi-edu.ac.jp	音楽教育	音楽科授業構造研究、音楽科教材研究 実験系音楽心理学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	１人	講義を理解できる日本語能力を有すること。 学校音楽科教育まは音楽教育に関する明確な研究テーマを有すること。
25025	阿部 亮吾 准教授	aberyogo@auecc.aichi-edu.ac.jp	人文地理学	人文地理学、都市地理学、移民研究、 多文化共生／多文化主義	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 英語	１人	人文地理学、都市地理学、移民研究、多文化共生／多文化主義に関する明確な調査テーマをもち、日本語または英語でコミュニケーションをとれる、きちんとした性格であること（インドネシア２）

25026	児玉 康一 教授	kkodama@auecc.aichi-edu.ac.jp	物理学	理科・物理学分野の教材開発 （盲学校での利用含む）	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 英語	１人	日本語または英語でのコミュニケーションが可能であること。（インドネシア１）
25027	趙 卿我 准教授	jo0620@auecc.aichi-edu.ac.jp	教育評価論	教育評価の変遷	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 韓国語	２人	カリキュラム及び教育評価に関心を有すること。
25028	真島 聖子 准教授	kmajima@auecc.aichi-edu.ac.jp	社会科教育	社会科教育・公民教育・持続可能な社会	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 韓国語	１人	社会科教育・公民教育・持続可能な社会に関心があること。 日本語または韓国語の能力を有していること。
25029	加藤 淳太郎 教授	jkatoh@auecc.aichi-edu.ac.jp	生物学（植物遺伝学・植物組織培養学）・生物教育学	植物遺伝学・発生学・組織培養学に関する教材開発	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 英語	１人	十分な日本語能力か英語能力を有し、研究テーマのアイデアを持っていること。
25030	鈴木 一成 准教授	k-suzuki@auecc.aichi-edu.ac.jp	身体教育学	保健体育科教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 英語	１人	計画的な研究テーマを有していること。 十分な日本語能力か英語能力を有していること。
25031	山下 純平 准教授	yjunpei@auecc.aichi-edu.ac.jp	スポーツ科学・身体教育学	保健体育科、球技	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 英語	１人	計画的な研究テーマを有していること。 十分な日本語能力か英語能力を有していること。
25032	成瀬 麻美 准教授	mnaruse@auecc.aichi-edu.ac.jp	身体教育学	保健体育科、舞踊・ダンス	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 英語	１人	計画的な研究テーマを有していること。 十分な日本語能力か英語能力を有していること。
25033	縄田 亮太 准教授	nawata@auecc.aichi-edu.ac.jp	スポーツ科学・身体教育学	保健体育科、球技	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 英語	１人	計画的な研究テーマを有していること。 十分な日本語能力か英語能力を有していること。

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☑を付けてください。

京都教育大学（京都府）

国立大学法人
京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION

歴史豊かな国際都市・京都で日本と世界の教育を学ぶ

◇大学紹介

①大学の概要

京都教育大学は，1876年（明治9）年に創設された京都府師範学校を受け継ぎ，147年の歴史と伝統を有しています。

本学は，教員養成単科大学ですが，学部には，教育学，国語，社会，理科，美術，音楽，体育をはじめ，13の専攻がある「教育の総合大学」です。大学院としては，京都の10の大学が連合し資質の高い教師を育てる「連合教職実践研究科」が設置されています。

京都教育大学は京都市の南部に位置しています。京都は日本を代表する古都で，世界遺産に選ばれた多くの文化財，豊かな精神文化を有する街です。また，現代的な京都駅ビルの建築やマンガミュージアムも有名です。古い歴史と新しい文化がともに体験できる街だと言えます。

キャンパス内は自然豊かで，春の桜はとても美しいです。

②国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入実績

2023年度：23

2022年度：17

2021年度：19

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2023年度： 5

2022年度： 4

2021年度： 4

◇教員研修コースの概要・特色

①研修コースの特色

一人一人の希望に応じたきめの細かい指導を行います。研修や生活支援をしてくれる日本人のチューターとの交流も活発です。

②受入定員　10名

③奨学金支給期間　2024年10月～2026年3月

④コースの修了要件

以下の条件を満たした場合、修了証明書が授与されます。

・大学の開講する正規科目又は留学生用科目を週10時間以上受講する。

・指導教員の指導を受けて学校教育に関する研究を実施し，その成果を報告書としてまとめ論集において公表する（使用言語は日本語もしくは英語）

本学は伏見稲荷大社の近くにあります。学生主催のお月見会の様子。

⑤研修コースの概要

【1年半コース】

研修に十分な日本語能力がある場合は，日本語研修コースに参加せず，本学で1年半の専門教育を受けます。本学にも日本語授業があり，日本語を学習することができます。

【1年コース】

指定機関で半年間の日本語研修コースを受けた後，本学で1年間の専門教育を受けます。

なお，本学にも日本語授業があり，日本語を続けて学習することができます。

●日本語研修コースについて

京都大学で半年間の日本語研修コースを受けます。

●専門教育

希望する研究テーマについて指導教員の指導を受けながら論文を作成します。許可されれば，一般の授業，演習等への参加も可能です。

●見学，地域交流等

日本人学生と年１回の実地見学研修に行きます。また，京都市国際交流協会主催の国際理解プログラムPICNIKに参加すると，地域の学校を訪問して，自分の国の紹介を行いながら，子ども達と交流することができます。

実地見学研修にて(岐阜県)

◇修了生へのフォローアップ

研修終了後も指導教員がメールで相談に応じています。また，修了生同士はSNSで交流を続けています。

◇宿　舎

来日当初は原則として向島学生センターに入居します。

〇宿舎及び宿舎費

・単身用　　（ 32,000 円 / 月 ）
・世帯用　　（ 67,000 円 / 月 ）

入居時に保証金として家賃の１ヶ月分が必要です。これは原則，帰国時に返金されます。また，契約時に保証会社との契約が必要です。（約15,000円/年）。

〇宿舎設備・備品

各居室に冷暖房設備，給湯設備，バス・トイレ，カーテン，家具類が備え付けられています。寝具は必要に応じてレンタル出来ます。
(約19,800円/年)

〇宿舎周辺の生活情報，通学時間

近くにショッピング街，病院，公園，図書館等，があります。電車で大学まで約30分,京都の中心まで約40分です。

日本語研修終了後，空きがある場合は，本学の国際交流会館に入居することができます。大学まで徒歩15分，京都市の中心まで約30分で，近くにスーパーマーケットがあり，便利な環境です。

キャンパス内のフウノキの紅葉

◇問合せ先

＜担当部署＞
京都教育大学学生課学生支援グループ

住所：　〒612-8522
　　京都府京都市伏見区深草藤森町1番地

TEL：　+81-75-644-8159（直通）
FAX：　+81-75-644-8169
Email：　intel@kyokyo-u.ac.jp

＜ウェブサイト＞
https://www.kyokyo-u.ac.jp/student/ehp/to-this/ttp/post-1.html

大学名：　京都教育大学（大学番号28）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	大学院連合教職実践研究科　教科研究開発高度化系							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
人間発達探究プログラム								
28001	田爪 宏二　教授	htazume@kyokyo-u.ac.jp	発達心理学 教育心理学	１．認知発達と教育的支援に関する心理学的研究 ２．認知的情報処理のメカニズムとその発達に関する心理学的研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	１人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。（過去５年間の受入実績：コスタリカ１，インドネシア１）
言語・文化プログラム								
28002	天野 知幸　教授	amano@kyokyo-u.ac.jp	日本文学	１．日本近現代文学の研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	１人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28003	谷口 匡　教授	tadashi@kyokyo-u.ac.jp	日本漢文学	１．日本漢詩文の研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	１人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28004	浜田 麻里　教授	hamadam@kyokyo-u.ac.jp	日本語教育	１．第２言語としての日本語の教育の内容と方法に関する研究 ２．異文化接触場面における諸現象に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 または英語	１人	１年以上の日本語教育実践又は外国語教育指導の経験を有すること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること、もしくはTOEFL６１点(iBT)以上に相当する英語運用力を有すること。 （過去５年間の受入実績：タイ２）
28005	西本 有逸　教授	yuitsu@kyokyo-u.ac.jp	英語教育学	１．外国語あるいは第二言語としての英語教育 ２．ヴィゴツキーの文化ー歴史的理論	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 または英語	２人	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること、又はTOEFL７９～８０点(iBT)以上であること。 （過去５年間の受入実績：韓国３）
28006	オーバマイヤー アンドリュー　准教授	andrew@kyokyo-u.ac.jp	英語教育学 言語教育	1.Teaching English as a Foreign Language 2.Vocabulary Learning 3.Positive Psychology in Foreign Language Learning	☑小学校教員 ☑中高教員	英語	１人	Applicant's research themes should match with mine.□English ability should be equivalent or above TOEFL 75(iBT)□ 研究テーマが同じであること。TOEFL７５点(iBT)以上であること。（過去５年間の受入実績：オマーン１,メキシコ１，コロンビア１，ジンバブエ１）
28007	染谷 藤重　准教授	fsomeya@kyokyo-u.ac.jp	英語教育学 学習心理学	1.　（小学校における）英語教育 2.　英語または外国語の動機づけ研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 または英語	１人	研究テーマが同じであること。TOEFL７５点(iBT)以上であること。
公共・文化プログラム								
28008	香川 貴志　教授	kagawa@kyokyo-u.ac.jp	地理学	1.日本の都市の特徴について理解を深める。	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1人	研究テーマは受入分野と同じものであること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28009	斉藤 恵太　准教授	saito@kyokyo-u.ac.jp	西洋史学	１．ヨーロッパの歴史に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、 英語、 ドイツ語	１人	受入分野と同じ専門分野であること。
28010	中村 翼　准教授	ntsubasa@kyokyo-u.ac.jp	日本史	１．9～15世紀の東アジア海域史 ２．日本の歴史(とくに前近代)	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	１人	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28011	荻野 雄　教授	ogino@kyokyo-u.ac.jp	政治学	１．政治思想または思想史に関する研究 ２．研究テーマに関する専門書の講読	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	１人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28012	石川 誠　教授	ishikawa@kyokyo-u.ac.jp	経済学	１．環境経済・環境政策に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	１人	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること。

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
数理自然・技術プログラム								
28013	黒田 恭史　教授	ykuroda@kyokyo-u.ac.jp	数学教育	１．数学教育学の国際比較研究 ２．脳科学と教育学の学際的研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	１人	日本語で研究指導が受けられる程度である （過去５年間の受入実績：韓国２）
28014	水上 雅昭　講師	mmizu@kyokyo-u.ac.jp	解析学	１．関数解析、偏微分方程式	□小学校教員 ☑中高教員	日本語	1人	受入分野と同じ専門分野であること。
28015	谷口 和成　教授	guchi@kyokyo-u.ac.jp	物理学 理科教育	１．アクティブ・ラーニングによる科学教育および物理教育 ２．探求活動	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	１人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28016	藤浪 理恵子　准教授	fujinam3@kyokyo-u.ac.jp	生物学 理科教育	１．日本の生物教育 ２．植物学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	１人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28017	田中 里志　教授	stanaka@kyokyo-u.ac.jp	地質学 理科教育	１．日本の地質の研究・観察 ２．日本の地学教育について理解を深める	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	１人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28018	南山 泰宏　教授	yminami@kyokyo-u.ac.jp	園芸学	１．農業教育 ２．野菜園芸学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28019	原田 信一　教授	sharada@kyokyo-u.ac.jp	技術科教育	１．技術科教育における資質能力の育成	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28020	多田 知正　教授	htada@kyokyo-u.ac.jp	情報学	１．情報教育 ２．教育へのICT活用	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28021	中峯 浩　准教授	nakamine@kyokyo-u.ac.jp	電気	１．電気に関する教材作成	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28022	伊藤 伸一　准教授	itoh@kyokyo-u.ac.jp	情報学	１．Computational Physics	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 または英語	１人	研究テーマが同じであること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること、又はTOEFL６１点(iBT)以上であること。
28023	赤井 淳嗣　講師	akai@kyokyo-u.ac.jp	機械	１．機械に関する教材作成	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
健康・生活デザインプログラム								
28024	井上 えり子　教授	eriko@kyokyo-u.ac.jp	家政教育	１．日本の家庭科教育の内容を知る	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	１人	日本語で研究指導が受けられること。
28025	深沢 太香子　教授	fukazawa@kyokyo-u.ac.jp	被服環境学	１．着衣系における温熱生理 ２．衣服と健康・安全	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 または英語	１人	日本語で研究指導が受けられる程度であること、又はTOEFL６５点(iBT)以上であること。
28026	延原 理恵　教授	nobuhara@kyokyo-u.ac.jp	住居学	１．住まいの安全と防災教育 ２．住まい・まちづくり学習	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	１人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28027	權 眞煥　准教授	kwon@kyokyo-u.ac.jp	生活工学	１．AI・ICT教育 ２．映像教材の制作および編集 ３．人間工学と教育環境デザイン ４．非言語コミュニケーション	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 または英語 または韓国語	１人	日本語または英語または韓国語で研究指導が受けられる程度であること。
28028	小松崎 敏　教授	koma@kyokyo-u.ac.jp	体育・スポーツ・健康学 体育科教育学 体育教師教育	1.体育・健康・スポーツ科学に関する研究 2.子どもの体力や発育発達に関する研究 3.国の学校体育カリキュラムに関する研究 4.体育教師教育プログラムに関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 または英語	1人	受入分野について興味・関心があること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること、又はTOEFL６１点(iBT)以上であること。
芸術探究プログラム								
28029	清村 百合子　教授	ysaito@kyokyo-u.ac.jp	音楽科教育	１．日本の学校音楽教育について知る。	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	１人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28030	田邊 織恵　准教授	tanabeo@kyokyo-u.ac.jp	声楽	１．日本の歌に関する研究 ２．歌曲、オペラ研究 ３．オペラ、ミュージカル等の舞台研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	１人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28031	小笠原 真也　教授	sogas@kyokyo-u.ac.jp	器楽（ピアノ）	１．古典派を中心としたピアノ作品の演奏法研究 ２．歌曲を中心とした伴奏法研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	１人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28032	丹下　裕史　教授	htange@kyokyo-u.ac.jp	陶芸	１．陶芸制作 ２．陶芸教材に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28033	山内　朋樹　准教授	ytomoki@kyokyo-u.ac.jp	美学・美術史・庭園論	１．美学・美術史の理論と鑑賞 ２．庭園の理論と実践	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。

受入研究科等名	大学院連合教職実践研究科　学校臨床力高度化系

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
28034	水本　徳明 (コース主任) 角田　豊 (系副主任) 竺沙 知章　教授 (系主任)	tchikusa@kyokyo-u.ac.jp	教育実践高度化 高度教職実践 教職教育	＜方法＞ 研修生は「中核教員・リーダー教員養成コース」に所属する。指導教員は学校臨床力高度化系所属の２４人の中から適任者が担当する。 ＜内容＞ 本研究科の授業の受講 各種教育機関の見学 本研究科の各種行事への参加 小中学校での国際理解教育への参加	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	３人	授業の受講、各種教育機関の見学等に必要な日本語能力を有すること。 小・中学校の幹部教員及び行政機関職員を歓迎する。 本研究科の概要、開設授業科目、所属教員とその専門分野については本研究科ホームページに記載がある。 https://www.kyokyo-u.ac.jp/sk_ss/rengou/ （過去５年間の受入実績：韓国５） 問い合わせは、tchikusa@kyokyo-u.ac.jp)まで。

大阪大学（大阪府）

海外の現職日本語教師を対象とした日本語の研修と日本語教育学の専門研修

◇大学紹介

①大学の概要

大阪大学は、1931年に帝国大学として創設され、自由と進取の精神と時代の要請に応えるという熱意を基軸とし、理系・文系問わず、全国に先駆けた学部・研究科や研究所などの創設を実現してきた。地域に立脚し、産学官の連携を図りながら、卓越した教育研究拠点として世界的に高い評価を得ている。また、研究型大学として、本学では学生の教育において、あらゆる分野での高度な研究水準を背景に、高度情報化社会における真のリーダーシップを発揮しうる人材育成に力を注いでいる。学問・研究の場においては、専門分野の探求にとどまることなく、幅広い学際的視野を身につけることが必要であると考えている。総合大学である本学は、このような意味でも優れた環境を兼ね備えている。

吹田、豊中、箕面の3つのキャンパスから成り、学生数は約23,100名、教職員数は約7,100名。

②国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2023年度：2781人（2023年5月1日時点）

2022年度：2591人（2022年5月1日時点）

2021年度：2612人（2021年5月1日時点）

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2023年度： 1人

2022年度： 1人

2021年度： 0人

◇教員研修コースの概要・特色

①研修コースの特色

教員研修コースは、本学箕面キャンパスの人文学研究科日本学専攻を受入れ部局として実施する。同キャンパスでは、日本学専攻の授業に加えて、外国語学部日本語専攻の授業を聴講することが可能であり、日本人学生とともに授業を受ける機会が得られる点が特徴である。また、箕面キャンパスでは留学生が多く学んでおり、様々な国や地域の学生と交流ができることも特色として挙げられる。

②受入定員

4人

③奨学金支給期間

2024年10月～2026年3月

④コースの修了要件

指導教員によって異なるが、概ね週15時間の科目聴講や研究指導等を行う。

⑤研修コースの概要

・日本語教育

最初の6ヶ月に、日本語能力に応じて、吹田キャンパスの国際教育交流センターにおいて日本語の予備教育を受けることができる。なお、日本語日本文化教育センター及び外国語学部の日本語関連授業を聴講することも可能である。

・専門教育

人文学研究科の授業科目、および外国語学部日本語専攻の授業科目から選択して聴講する。

【1年コース】

半年間の日本語予備教育の後、人文学研究科および外国語学部の授業を1年間聴講する。

【1年半コース（日本語教育を受けない）】

人文学研究科および外国語学部の授業を1年半の間聴講する。

・実習・見学・地域交流等の参加型科目

留学生対象の行事として、歌舞伎などの日本文化体験や見学旅行が実施されることがある。また、日本語日本文化教育センターが開講する日本文化の体験型授業に参加することができる。

・その他

上記の専門教育の他に指導教員の個別指導を受ける。

◇修了生へのフォローアップ

人文学研究科日本学専攻において行われる、日本語･日本文化に関する研究会・シンポジウム等に参加することができる。

◇宿　舎

【宿舎情報】

・大阪大学サポートオフィスHP ：

https://iss-intl.osaka-u.ac.jp/supportoffice/jpn/housing/

※大阪大学では留学生の増加に伴い、宿舎入居者数に限りがあるため、宿舎が満室の場合にはご自身で民間住宅を手配していただきます。

【民間宿舎】

〇家賃：30,000円～70,000円（大学周辺平均）

〇保証金、礼金：0円～30万円（物件による）

・契約に際して、保証人が必要となります

（大阪大学では、外国人専用家賃保証サービス「コープレントインシュア」をご案内しています。詳細はHPをご確認ください。）

コープレントインシュアHP：
https://www.coop-ri.com/

◇問合せ先

大学所在地

〒562-8678 大阪府箕面市船場東3-5-10

担当部署

人文学研究科・箕面事務部教務係

連絡先（TEL、FAX、E-mail）

TEL

072-730-5053

FAX

072-730-5057

E-mail

jinbun-minoh-kyomu@office.osaka-u.ac.jp

教研生用のウェブサイトなど

https://www.hmt.osaka-u.ac.jp/

大学名： 大阪大学（大学番号29）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	人文学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
29001	筒井 佐代	tsutsui.sayo.hmt@osaka-u.ac.jp	日本語教育（学）	日本語教育学とそれに関連する日本語学、日本文化学	□小学校教員 ☑中高教員	日本語及び英語	2人	日本語の初級終了程度（CEFRのB1、JLPTのN3など）以上の日本語力があることが望ましい。 令和4年度1名（ベトナム）
29002	櫻井 千穂	csakurai.hmt@osaka-u.ac.jp	日本語教育（学）	日本語教育学とそれに関連する日本語学、日本文化学	□小学校教員 ☑中高教員	日本語及び英語	2人	日本語の初級終了程度（CEFRのB1、JLPTのN3など）以上の日本語力があることが望ましい。 令和5年度1名（タイ）

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☑を付けてください。

大阪教育大学（大阪府）

大阪・関西の文化に触れながら日本の教育について学びませんか

◇大学紹介

①大学の概要

大阪教育大学は、約150年の歴史と伝統がある、日本で有数の教育大学です。国立大学としては唯一の、夜間開講の小学校教員養成課程を設けています。柏原キャンパスと天王寺キャンパスがあり、大阪府内に11の附属学校園があります。大学院は、教育学研究科（修士課程）と教職大学院があります。

メインキャンパスの柏原キャンパスは、大阪市の中心部から東へ約20km、金剛生駒国定公園の中に位置しています。柏原市は緑豊かな山並みと美しい自然環境、そして古い歴史を持つ町です。

②国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2023年度：245人

2022年度：239人

2021年度：215人

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2023年度：9人

2022年度：12人

2021年度：4人

◇教員研修コースの概要・特色

①研修コースの特色
・附属学校などで授業見学及び現場教員との交流を行います。
・研修生のニーズに合わせたきめ細かい指導をします。
・日本人学生のチューターが研修や生活のサポートをします。

②受入定員 12名

③奨学金支給期間　2024年10月～2026年3月

④コースの修了要件
・修了レポートの作成と発表が義務づけられます。
・指導教員によって異なりますが、概ね60時間の論文指導を受けることが必要です。
・年間50時間程度、地域の小中高等学校での見学や交流、本学学生との交流に参加することが望まれます。
・研修が全て終了した時に、修了証が授与されます。

⑤研修コースの概要

・日本語教育
日本語研修が必要な場合は、文部科学省が指定する集中日本語コースで半年間勉強します。日本語力が十分な場合は、大阪教育大学で1年半研修を受けます。大阪教育大学では、初中級～上級の日本語の授業が提供されています（各レベル週に4回6時間）。

・専門教育（1年コース／1年半コース）
指導教員の個別指導を受けながら、それぞれの研究テーマについて研究を進めます。希望すれば、学部・大学院の授業も受けることができます。

・実習・見学・地域交流等の参加型科目
1) 日本の伝統文化
2) 文化交流実践研究
3) 関西発見プロジェクト
4) 日本の教育事情

・その他
1) 関西での文化研修（年2回）
2) ホームビジット
3) 着物やお茶等の文化体験

◇修了生へのフォローアップ

本学グローバルセンターではホームページやフェイスブックを通して修了生に情報を発信し、コミュニケーションを図っています。

◇宿　舎

日本語予備教育期間を除き、優先的に学内の宿舎を提供します。（＊単身者に限る。家族と滞在するものは自身で手配すること。）

〇宿舎数：40室（単身用）12㎡
留学生宿舎（柏原キャンパス内）

〇宿舎費： 7,600円（光熱水費除く）
※入居期間中に寄宿料が改定された場合は
その額が適用されます。

〇宿舎設備・備品
居室：机、ベッド、トイレ、エアコン、Wi-Fi
共用設備：キッチン、シャワー、洗濯機、TV

〇宿舎周辺の生活情報
キャンパス内に食堂、書店、ATM等
※留学生宿舎を含め柏原キャンパスは全面禁煙
※研修期間中の車やバイクの運転は原則禁止
※研修期間中のアルバイトは原則禁止

◇問合せ先

大学所在地：
〒582-8582
大阪府柏原市旭ケ丘4-698-1
https://osaka-kyoiku.ac.jp

担当部署：学術連携課国際室
連絡先：(TEL:072-978-3300/FAX:072-978-3554)
E-mail: isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
グローバルセンターホームページ：
https://ger.osaka-kyoiku.ac.jp

大学名：大阪教育大学（大学番号30）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	連合教職実践研究科, 教育学研究科

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去５年間の受入国、人数）
30001	鈴木　真由子	suzukima@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	家庭科教育、消費者教育、生活経営	カリキュラム研究及び教材作成	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30002	王　林鋒	wan-r50@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	教師教育、外国語教育	教科書研究、授業研究、専門職コミュニティー	☑小学校教員 ☑中高教員	英語、日本語、中国語	1	特になし
30003	井奥　加奈	ioku@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	食物学、食物機能学	食物学、食物機能学に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。（マラウイ1名）
30004	大本　久美子	ohmoto@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	家庭科教育、消費者教育	カリキュラム研究及び教材作成	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30005	小﨑　恭弘	kozaki@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	保育	日本の保育と子育て支援	☑保育士	日本語	1	日本語能力を有すること。
30006	山田　由佳子	yamada@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	被服学	被服と人間の関わりに関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30007	土山　和久	hiromix@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	国語教育	国語科の教授学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語・ドイツ語	1	日本語、英語またはドイツ語能力を有すること。（韓国1名）
30008	住田　勝	sumidam@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	国語教育	文学教育の研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。（韓国1名）
30009	成實　朋子	narumi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	国語教育	児童文学の研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語または中国語能力を有すること。
30010	村井　隆人	murai-t60@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	国語教育	読むことの教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30011	水野　治久	hmizuno@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	学校心理学	いじめの予防、不登校児童・生徒の援助	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。（インド1名、ミャンマー1名）
30012	小林　翔	kobayashi-s03@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	英語教育	英語教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。
30013	橋元　真央	hashimoto-m82@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	体育	身体表現教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30014	中橋　美穂	nakahasi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	幼児教育学 保育学	保育者の専門性・実践知に関する研究	☑幼稚園教員・保育教諭 ☑保育士	日本語	1	日本語能力を有すること。
30015	井坂　行男	isaka@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	特別支援教育（インクルーシブ教育）	特別支援教育(インクルージブ教育）、聴覚障がい教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	特になし。（ケニア２名、マラウイ２名）
30016	大内田　裕	oouchida-y66@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	特別支援教育	特別支援教育における脳・神経科学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	学士または修士の学位を有すること。日本語または英語能力を有すること。
30017	高橋　登	noborut@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	教育心理学、発達心理学	リテラシーのアセスメントと支援、学校現場における障がい児の支援	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。（ブラジル1名、インド1名）
30018	小松　孝至	komatsu@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	発達心理学	幼児期・児童期の社会的発達	☑小学校教員 □中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。
30019	八田　幸恵	isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	教育方法学	評価を生かしたカリキュラム開発	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。（韓国1名）
30020	瀬戸口　昌也	masayas@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	教育哲学	日本の教育哲学・教育思想研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30021	上田　裕美	hueda@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	臨床心理学	日本のスクールカウンセリング	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30022	加賀田　哲也	isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	英語教育	英語教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	英語能力を有すること。（韓国1名、中国1名、ケニア1名）
30023	寺田　寛	isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	言語学	統語論の対照研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。

30024	箱﨑　雄子	hakozaki@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	英語教育	英語教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。（サントメ・プリンシペ１名、ルーマニア1名、インドネシア1名、クウェート1名・リトアニア1名）
30025	橋本　健一	kenhashi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	英語学、英語教育学	第二言語習得における心理言語学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。（ペルー1名、タイ1名、メキシコ2名、インド1名）
30026	篠崎　文哉	fshino@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	英語教育	英語教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。（チリ1名）
30027	プール ジャスティン	pool@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	英語教育	英語教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。（クロアチア1名、パキスタン1名）
30028	松本　啓二朗	keijiro@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	哲学	日本の哲学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30029	櫻澤　誠	msaku@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	歴史学	日本の歴史	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30030	石川　聡子	sisikawa@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	科学教育、環境教育	科学教育、環境教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	学士または修士の学位を有すること。日本語または英語能力を有すること。（フィリピン4名、中国１名）
30031	岡崎　純子	okazaki@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	生物学	植物学に関連する生物教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。
30032	松本　桂	katsura@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	観測天文学	天体観測の実践	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	学士または修士の学位を有すること。日本語または英語能力を有すること。天文学の基礎知識を有すること。
30033	日髙　翼	hidaka-t63@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	理科教育	理科教育の構造と歴史、理科カリキュラム研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	日本語能力を有すること。
30034	永冨　一之	nagatomi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	技術教育	日本の木材加工教育に関する研究	□小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	学士または修士の学位を有すること。日本語能力を有すること。
30035	光永　法明	isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	情報教育	情報教育の研究	□小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	学士または修士の学位を有すること。日本語能力を有すること。
30036	太田　順康	yori@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	体育学	日本の体育、武道教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30037	小川　剛司	ogawat@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	学校保健、運動生理学	保健授業研究、運動生理学的研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。
30038	石川　美久	yoshihis@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	スポーツ科学、コーチング学	武道教育、柔道のコーチング、頭部外傷予防	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30039	井上　功一	kinoue@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	保健体育科教育	運動学習の目標・内容、 方法	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30040	林　洋輔	hyosuke@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	体育、スポーツ哲学	体育・スポーツ哲学の研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語または英語能力を有すること。
30041	鉄口　宗弘	hiro@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	運動生理学、健康教育	運動生理学的研究、健康教育に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30042	神藤　隆志	jindo-t93@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	スポーツ科学	スポーツ心理学に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。
30043	池田　利広	tikedat@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	漢字書道	漢字書道制作	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30044	加藤　可奈衛	tyosoken@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	彫刻	彫刻制作、及び派生展開するプロジェクト（地域連携的活動）	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30045	佐藤　賢司	ksato@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	美術教育、工芸	工芸または日本の美術教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30046	出野　文莉	zhangli@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	書道、漢字	書道文化、漢字学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・中国語	1	日本語または中国語能力を有すること。（ロシア1名）
30047	渡邉　美香	mwatanab@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	絵画、美術教育	絵画制作、日本の美術教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。（スウェーデン1名）
30048	髙間　由香里	ytakama@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	日本美術史	日本美術史学研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30049	谷村　さくら	tanimura-s48@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	陶芸	陶芸制作、粘土を使った美術教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30050	碓田　智子	tusuda@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	住居学	住まいの文化、住教育に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30051	松本　鉄也	tetsuyam@cc.osaka-kyouiku.ac.jp	病理学	個体から細胞レベルまでの病理学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。

30052	西川　章江	nishikwn@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	食物学	食物学に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30053	藤田　大輔	fujitad@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	安全教育学	安全教育、セーフティプロモーションスクール	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30054	寺坂　明子	terasaka@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	学校心理学	教室内での積極的行動支援、予防的心理教育	☑小学校教員 □中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。
30055	鈴木　剛	gsuzuki@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	遺伝学	植物の分子遺伝学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語または英語能力を有すること。
30056	谷　敬太	ktani@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	化学	有機化学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。（ナイジェリア1名、ガーナ1名）
30057	藤田　修	fuji@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	情報科学	プログラミング、機械学習、人工知能	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30058	町頭　義朗	machi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	数理科学	数理パズル	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	大学卒業程度の数学能力を有すること。
30059	守本　晃	morimoto@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	信号処理	ウェーブレット解析の信号処理への応用	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語または英語能力を有すること。
30060	若杉　祥太	wakasugi-s83@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	情報教育学	教育方法・教材・カリキュラムの研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30061	赤木　登代	akaki@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	女性史	女性史研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語、英語またはドイツ語能力を有すること。
30062	石橋　紀俊	isibasin@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	日本近現代文学	日本近現代文学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30063	亀井　一	kamei@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	ドイツ文学	翻訳研究、日独比較研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・ドイツ語	1	日本語とドイツ語を読むことができること。
30064	井上　直子	inouenao@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	フランス語、フランス文学	フランス文学、論述教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・フランス語	1	日本語またはフランス語能力を有すること。
30065	櫛引　祐希子	kushibiki-y11@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	日本語学	日本語の研究、方言の研究、社会言語学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30066	中山　あおい	isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	比較教育学	異文化間教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30067	米澤　千昌	yonezawa-c73@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	日本語教育学	日本語教育、バイリンガル教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30068	中野　知洋	nakanot@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	中国文学	中国文学、日中比較研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・中国語	1	日本語または中国語能力を有すること。
30069	小野　恭靖	ono@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	日本古典文学	日本古典文学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30070	北川　文雄	isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	作曲	作曲法研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語でのコミュニケーションを取れること。日本語でレポートが作成できる能力を有すること。当該分野に必要な能力を有すること。
30071	神代　修	kuma@cc.oska-kyoiku.ac.jp	音楽	トランペット実技	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30072	玉井　裕子	isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	声楽	日本歌曲の演奏表現研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語でコミュニケーションを取れること。 日本語でレポートが作成できる能力を有すること。
30073	中務　晴之	haruchan@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	音楽	フルートを中心とする木管楽器の奏法研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。（スペイン1名）
30074	山畑　誠	yamaberg@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	音楽	ピアノによる西洋クラシック音楽の演奏表現研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30075	岡本　麻子	isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	音楽	クラシック西洋音楽のピアノ奏法	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30076	吉田　雅行	isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	スポーツ科学	バレーボールのコーチング	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。バレーボールコーチング。
30077	生田　泰志	yasushi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	スポーツ科学 体育	水泳の科学水泳教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30078	千住　真智子	marchi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	体育	舞踊教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30079	松原　英輝	matsubara-h68@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	スポーツ科学	サッカーのコーチング	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・フランス語	1	日本語またはフランス語能力を有すること。

30080	橋本　恒	hashimoto-h57@ex.osaka-kyoiku.ac.jpo	スポーツ医学	アスレティックトレーニング	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。
30081	馬場　良始	ybaba@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	代数学	R-加群論	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有し、代数学の基礎となる群（Group）・環（Ring）・体（Field）を習得していること。
30082	岡安　類	rui@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	解析学	函数解析学及び作用素環論	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。大学卒業程度の数学能力を有すること。
30083	大道　乃里江	omichi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	学校保健	保健管理、保健教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☑を付けてください。

兵庫教育大学 （兵庫県）

兵庫教育大学は教育に関するあらゆる専門家を擁する“教員のための大学院大学”
日本の小中高校の現職教員等とともに、教育現場の課題に密着した研究を行います。

◇大学紹介

①大学の概要

兵庫教育大学は、主として現職教員の学校教育に関する高度の研究、研鑽の機会を確保する大学院修士課程、初等教育教員を養成する学部を有する教員養成大学として1978年10月に設置された大学である。さらに、1995年4月には、わが国初の教員養成系博士課程として、兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）が設置された。在籍学生は、大学院、学部生あわせて約1,500名であり、教員は、あらゆる分野の専門家を擁している。

②国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2023年度：39人

2022年度：23人

2021年度：30人

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2023年度：4人

2022年度：5人

2021年度：5人

◇教員研修コースの概要・特色

①研修コースの特色

・兵庫教育大学教員研修留学生プログラムは、教員としての資質の涵養と能力の向上を図ろうとする諸外国の現職学校教員が、学校教育に関する総合的かつ学際的な研究を行い、学校教育に関する教育方法論とスキルを理論的に構築する研修を行うことを目的としている。
・教員研修留学生のニーズと関心にあった指導を行い、研究の機会を提供している。

②受入定員　５名

③奨学金支給期間　2024年10月～2026年3月

④コースの修了要件

研究課題に応じた概ね週12時間の研究を行い、修了時に研究論文（レポート）を作成し、発表する。

⑤研修コースの概要

・日本語教育

1）文部科学省が指定する大学の日本語研修コースで日本語教育を受ける。
期間：2024年10月1日～2025年3月31日（6ヶ月間）
2）兵庫教育大学で外国人留学生を対象とした日本語補講を行う。
期間：2025年4月～2026年3月（週1回）

・専門教育　期間：2025年4月1日～2026年3月31日（1年間）

1）教員研修留学生の関心と日本語および専門の理解度に応じて、日本人大学院生・学部学生用の講義、指導教員による個別指導、小中学校での実地研修を組み合わせ、個々の研修プログラムにしたがって専門教育を受ける。
※殆どのプログラムが日本語で行われるので、日本語理解力が望まれる。
2）大学教員が指導教員となり、教員研修留学生の関心に沿った指導を行う。指導教員の指導を得て、研究課題にしたがった研究を行い、修了時に研究論文（レポート）を作成し、発表する。

・見学・地域交流等の参加型科目

地元加東市、加東市国際交流協会およびボランティア団体が企画するイベントや懇談会、地元の学校との交流活動などが季節に応じて多彩にある。

・その他

＜日本人学生との共修の機会＞ 英語による日本人学生との交流会
＜日本文化の体験＞ 日本文化課外研修

◇修了生へのフォローアップ

本学を修了時にはメーリングアドレスにより連絡を取り、進路の確認などを随時行っている。

◇宿　舎

大学キャンパス内に、兵庫教育大学国際交流会館がある。

国際交流会館
（夫婦室）

○宿舎数

・夫婦用　５室

○宿舎費

（2023年10月1日現在）
・夫婦室 11,900 円

○宿舎設備・備品

（夫婦室の例）
Wi-Fi、ユニットバス、キッチン、給湯設備、冷暖房用空調設備、ベッド、平机、椅子、書棚、ワードローブ、シューボックス、食卓テーブル・椅子、食器戸棚、洗面台、洗濯機、テレビ、オーブンレンジ、冷蔵庫、ガスコンロ、掃除機、電気ケトル、傘立

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

キャンパス内にコンビニ、食堂、留学生図書コーナーを備えた図書館がある。

◇問合せ先

兵庫教育大学教育研究支援部
学生支援課　国際交流チーム
〒673-1494　兵庫県加東市下久米942-1
Tel +81-795-44-2043
Fax +81-795-44-2049
E-mail office-kokusai-t@ml.hyogo-u.ac.jp
ホームページ　https://www.hyogo-u.ac.jp/

大学名：兵庫教育大学（大学番号31）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	学校教育研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去５年間の受入国、人数）
31001	中間 玲子	nakama@hyogo-u.ac.jp	発達心理学	発達心理学（特に青年期）、人格心理学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	日本語文献読解力、日本語会話能力、英語文献読解力
31002	大関 達也	oseki@hyogo-u.ac.jp	教育学	教育哲学、 教育思想史	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語、ドイツ語	1	マレーシア（1名）
31003	坂口 真康	masayasu@hyogo-u.ac.jp	教育学	教育社会学、比較教育学、多文化共生の教育	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	
31004	茶谷 智之	tchaya@hyogo-u.ac.jp	社会福祉，アジア地域研究	子ども家庭福祉、アジアの教育	☑小学校教員 ☑中高教員 ☑その他（幼稚園教諭又は保育士）	日本語、英語	1	英語論文読解力
31005	野本 立人	tnomoto@hyogo-u.ac.jp	声楽、芸術学	声楽、声楽教授法、合唱指導法	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	日本語文献読解力、日本語会話能力
31006	河内 勇	ikawachi@hyogo-u.ac.jp	器楽、芸術学	クラリネット、クラリネット教授法、スクールバンド	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	
31007	高木 厚子	takagi@hyogo-u.ac.jp	美術教育	造形美術教育	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	日本語文献読解力、日本語会話能力
31008	喜多村 明里	kiarart@hyogo-u.ac.jp	美学・美術史	美術史学、鑑賞教育、日本の美術館学物館学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語、イタリア語	1	英語文献読解力、日本語文献読解力 （イタリア語も可）
31009	小田 俊明	toda@hyogo-u.ac.jp	スポーツ健康科学	スポーツ健康科学、STEM教育	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	英語論文読解力
31010	高野 美由紀	mmurata@hyogo-u.ac.jp	特別支援教育	障害児医学、障害および併存症の早期発見・早期支援、発達相談	☑小学校教員 ☑中高教員 ☑その他（特別支援学校教員）	日本語、英語	1	英語文献読解力、日本語会話能力、フィリピン（1名）
31011	石倉 健二	kenji@hyogo-u.ac.jp	特別支援教育	肢体不自由、重度重複障害、心理リハビリテーション	☑小学校教員 ☑中高教員 ☑その他（特別支援学校教員）	日本語、英語	1	日本語文献読解力、英語文献読解力、ボツワナ（1名）
31012	井澤 信三	isawa@hyogo-u.ac.jp	特別支援教育、教育心理学	発達障害、自閉症、応用行動分析	☑小学校教員 ☑中高教員 ☑その他（特別支援学校教員）	日本語、英語	1	英語文献読解力、フィリピン（1名）、インドネシア（1名）
31013	中島 武史	tnakashi@hyogo-u.ac.jp	特別支援教育	聴覚障害、手話、社会言語学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☑その他（特別支援学校教員）	日本語、日本手話、英語	1	英語文献読解力、ケニア（1名）
31014	當山 清実	tyks@hyogo-u.ac.jp	教育学	教育経営、教師教育	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、西語	1	日本語文献読解力、日本語会話能力、ミャンマー（1名）
31015	谷田 増幸	tanida@hyogo-u.ac.jp	教育学	価値、道徳性、倫理学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	
31016	菅井 三実	ksugai@hyogo-u.ac.jp	日本語学	言語の認知処理、日本語との対照研究、日本語の文法、日本語の動態	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	

大学名：兵庫教育大学（大学番号31）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	学校教育研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去５年間の受入国、人数）
31017	羽田 潤	hada@hyogo-u.ac.jp	国語科教育	国語科教育、 メディア教育、 ICT教育、 児童文化研究、 サブカルチャー研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語文献読解力、日本語会話能力
31018	竹口 智之	ttakeguc@hyogo-u.ac.jp	日本語教育	日本語教育史、日本語教授法、動機づけ、外国人児童への日本語/教科教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	①日本語能力試験N1、②日本留学試験（EJU）聴解・聴読解・読解：計280点、記述35点、③J-cat 250点以上 上記のいずれか
31019	吉田 達弘	tyoshida@hyogo-u.ac.jp	英語教育	英語教育、英語授業研究、社会文化理論、言語教師教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1	英語会話・読解力、モロッコ（1名）、タイ（1名）、チリ（1名）
31020	TADA WENDY EILEEN	wendy@hyogo-u.ac.jp	英語教育	言語学、 外国語教育、 第二言語習得、英語教育、英語教師教育	☑小学校教員 □中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1	インドネシア（1名）、グアテマラ（1名）
31021	鳴海 智之	narumi@hyogo-u.ac.jp	英語教育	英語教育、外国語教育、心理言語学、第二言語習得、語彙学習、文理解、文産出	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1	英語会話力、英語文献読解力、グアテマラ（1名）
31022	原田 誠司	seiharad@hyogo-u.ac.jp	日本史	日本近世史、近世村落成立史論	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	
31023	森 秀樹	hmori@hyogo-u.ac.jp	哲学	哲学（現代哲学）、文化論、市民性教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1	
31024	山内 敏男	tyamachi@hyogo-u.ac.jp	社会科教育	社会系教科教育、歴史教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語による議論ができること、日本語文献読解力
31025	福田 喜彦	yfukuda@hyogo-u.ac.jp	社会科教育	社会系教科教育、歴史教育、公民教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語文献読解力
31026	國岡 高宏	kunioka@hyogo-u.ac.jp	数学教育	算数・数学教育、カリキュラム・教材の開発、指導法、授業研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1	日本語文献読解力、マラウイ（1名）
31027	川﨑　由花	kawasaki@hyogo-u.ac.jp	教育学、グローバル・スタディーズ	教育学、教育方法	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1	ガボン（1名）、マラウイ（1名）、モロッコ（2名）、フィリピン（1名）、サウジアラビア（1名）、リベリア（1名）、インドネシア（1名）、ジンバブエ（1名）、ナイジェリア（1名）、ブルキナファソ（1名）
31028	吉田　夏帆	nyoshida@hyogo-u.ac.jp	国際協力学、国際教育	教育開発、国際教育協力、授業分析	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1	

神戸大学（兵庫県）

附属学校の協力のもと、教育現場での体験や見学の機会が用意されています

◇大学紹介

①大学の概要

神戸大学は、1902(明治35)年に高等教育機関として設置され、120年を超える歴史を有し、現在国立大学法人として10学部・15研究科を開設し、１研究所と多数のセンターを持つ総合大学です。

神戸大学は、国際都市である神戸という環境を反映し、種々の学問分野で外国の大学との国際交流に重点を置いて活動しており、高い学術的評価を受けています。そして、多様な個性と専門性をもった異分野の学生や教員との交流の中で学ぶことができる教育研究環境を備えています。

②国際交流の実績

海外の基幹大学との学術交流や学生交流を積極的に進めており、世界65ヵ国・地域の著名な大学や研究所など、延べ374機関と学術交流協定を結んでいます。

・過去3年間の留学生の受入実績（2023年5月1日）

2023年度：　1,291名

2022年度：　1,229名

2021年度：　1,179名

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2023年度：　0 名

2022年度：　0 名

2021年度：　1 名

◇教員研修コースの概要・特色

①研修コースの特色

座学教育に加え、教育現場での体験学習や公共施設見学及び地域における日本的文化行事に参加できます。

②受入定員：1名

③奨学金支給期間

2024年10月～2026年3月

④コースの修了要件

特論　2単位　30時間

ゼミ(演習)　2単位　30時間

概ね　60時間

修了レポートの提出（日本語もしくは英語）

⑤研修コースの概要

・日本語教育

(1)期間：２０２４年１０月～２０２５年３月

(2)内容：最初の６ヶ月は、本学グローバル教育センターで日本事情及び基礎的な日本語の教育を受けます。

・専門教育

(1)期間：２０２５年４月～２０２６年３月

(2)内容：必要な授業を聴講したり、指導教員から指導を受けて研究します。また、指導教員の指導・助言により、市内の公立学校で研究する場合もあります。

４月～８月中旬	授業
８月中旬～９月	夏季休業（地域交流イベント他）
１０月～２月中旬	授業
１２月	レポート提出
２月	発表会
３月	修了式

・見学・地域交流等の参加型科目：座学教育の一環として実施

・その他：学校訪問、博物館の公共施設の見学等の研修を予定しています。

◇修了生へのフォローアップ

修了生には、本学の海外同窓会ネットワークへの加入（登録）を呼びかけ、本学の各種情報をお知らせしています。

また、修了生からの相談やキャリアアップのための支援など指導教員が適宜対応しており、修了生の今後の活躍をサポートしています。

◇宿　舎

神戸大学では、留学生数の増加にともない、希望者全員が大学の留学生用宿舎に入居できるとは限りません。

〇宿舎数

・単身用　311室

・夫婦用　16室

・世帯用　7室

〇宿舎費（単身室）

月額 4,700～21,000円（2023）

*宿舎により、チェックイン時に共益費等が必要になる場合あり。

〇宿舎設備・備品

宿舎により異なりますが、机、イス、ベッド、冷蔵庫、洗濯機等が備わっています。

〇宿舎周辺の生活情報、通学時間

通学時間は、電車を利用して30～50分

◇問い合わせ先

大学所在地：657-8501　神戸市灘区鶴甲3-11

担当部署名：国際人間科学部鶴甲第二キャンパス事務課教務学生係

TEL：+81-78-803-7924, FAX：+81-78-803-7929

E-mail： hudev-kyomu@office.kobe-u.ac.jp

大学のホームページアドレス：

http://www.kobe-u.ac.jp

大学名： 神戸大学（大学番号32）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	人間発達環境学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
32001	川地 亜弥子	kawaji@port.kobe-u.ac.jp	1. 教育方法学 2. 教育実践 3. 特別支援教育	３分野に関する日本の状況について、授業見学や研究交流を行う。	☑小学校教員 ☐中高教員 ☐その他（　）	日本語及び英語	1人	日本語初級（韓国１）

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☑を付けてください。

奈良教育大学（奈良県）

教員養成大学として130年以上の歴史を持ち、研究だけでなく附属学校もあるので教育実践を具体的に学べる

◇大学紹介

①大学の概要
本学は、日本の古都「平城京」の時代より伝統と文化の薫り高い奈良の地にあり、教員養成系の単科大学として、これまで多くの教員を世に送り出している。
　1888年に奈良県立尋常師範学校として創設されて以来、2018年で130年の歴史を有している。1949年に奈良学芸大学が設置され、さらに1966年に奈良教育大学と改称し、現在に至っている。
　その後、2006年からは全国に先駆けて、新任教員に求められる資質能力目標に基づく「教員養成のためのカリキュラムフレームワークの構築」に取組み、2008年には卓越した教員の養成を使命として「教職大学院の新設」など、教員養成教育の質の保証・向上に不断の努力を続けている。
＜学生数＞　1,275人　＜教員数＞　　92人
＜奈良県の特色＞
　奈良県は、710年から794年（又は784年）の間、我が国古代の都があった所で世界遺産に登録された法隆寺をはじめ文化財の宝庫となっている。
　また、京都や大阪にも大変近く日本の歴史ある数多くの文化に日常的に触れることができる。

②国際交流の実績
・過去3年間の留学生の受入れ実績
2023年度：13カ国44人　2022年度：15カ国53人
2021年度：8ヶ国33人
・過去3年間の教員研修留学生の受入実績
2023年度：2人　2022年度：5人
2021年度：4人
・出身国：マラウイ，インドネシア，リベリア，大韓民国，フィリピン，パキスタン，マレーシア

◇教員研修コースの概要・特色

①研修コースの特色
・教員の専門分野は多岐にわたっており広範囲で受け入れできます
・連携校や学内組織の協力により、日本語・日本文化だけでなく日本の学校教育や教育実践について体験的、具体的に学ぶことができます。

②受入定員：7名

③奨学金支給期間：2024年10月～2026年3月

④コースの修了要件
以下の要件を満した場合、国際戦略センター運営委員会奈良教育大学部会がコース修了を認定し、修了証書を発行する。
・受入担当教員が指定する専門教育および国際戦略センター教員による日本語教育授業（指導教員によって異なるが、概ね週10時間程度）を履修すること
・コースで定められた実地研修に参加すること
・本コースの成果として修了時にレポートを作成すること

⑤研修コースの概要
・日本語研修
日本語研修を必要とする場合はJASSO大阪日本語教育センターにて6ヶ月の日本語予備教育を受けたのち、本学にて1年間の専門研修を受けます。
日本語研修が十分な場合は、本学にて1年半の研修を受けます。
・専門教育　受入担当教員が指定する活動や授業への参加
　　受入担当教員の個別指導の下、修了レポートを執筆
・日本語教育（通年）　国際戦略センター教員による授業
　　日本語…週2回（計4時間）
　　日本文化…週1回（2時間。英語による）
・見学・地域交流等の参加型科目・文化体験
　11月，4月　学習旅行
　1月，3月，7月　文化体験
地域の小中学校での交流や授業体験（日本人学生も参加）などを予定している。
大学主催の国際交流イベント（月1回程度）のほか、地域団体主催の文化体験プログラムにも参加可能。

小中学生対象のサマースクールin 曽爾への参加（2022年度の場合）

高野山学習旅行（2022年の場合）

大相撲観戦（2022年の場合）

交流イベント「田植え」

交流イベント「なっきょん’s café」

◇修了生へのフォローアップ

メールを媒体として、教育関係の資料送付、（必要に応じて）指導教員によるコンサルテーション等を行う。

◇宿　舎

教研生は、特に事情がない限り、大学の学生宿舎に入居する。（※単身者に限る。家族と滞在する者は自身で手配すること。）

〇宿舎数

・単身用：教研生の人数分は確保している。

・夫婦用：無し　　・世帯用：無し

〇宿舎費

約18,500円/月（但し、居室光熱費別途）

〇宿舎設備・備品

ベッド(布団なし)、机、椅子、クローゼットなど。Wi-Fi設備あり。

※キッチン、リビング、シャワー室、洗濯室は、共同です。キッチンには、共同の冷蔵庫があります。

〇宿舎周辺の生活情報、通学時間(主な所要時間)

大学：徒歩15分　バス停：徒歩5分　駅：バス10分

本学国際学生宿舎

◇日本語予備教育期間中の宿舎

JASSO大阪日本語教育センターの寮に入居します。寮費は6か月で約20万円となります。通学時間は徒歩約2分です。ただし、その寮に空きがない場合は当該機関が紹介する民間のアパートや本学国際学生宿舎を紹介します。別途通学費が必要です。

◇その他

来日後に、全員、国民健康保険（月額約2,500円）、外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険（略称：インバウンド付帯学総）（年額約3,000円）に加入する必要があります。

また、胸部レントゲン検査を受けていただきます。

修了証書授与式

◇問合せ先

奈良教育大学学生支援課国際交流・留学生係

住所　〒630-8528　奈良市高畑町

TEL　＋81－742－27－9148（直通）

FAX　＋81－742－27－9146

E-mail　ryugaku@nara-edu.ac.jp

奈良国立大学機構国際戦略センターホームページ

https://www.nara-isc.net

奈良教育大学ホームページ

https://www.nara-edu.ac.jp/

大学名： 奈良教育大学（大学番号33）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
33001	橋崎 頼子 教授	hashizaki @cc.nara-edu.ac.jp	カリキュラム開発	市民性教育のカリキュラム構成原理に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語、英語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33002	板橋 孝幸 教授	itabashi @cc.nara-edu.ac.jp	教育原理	近・現代における地域教育運動の研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33003	出口 拓彦 教授	deguchi @cc.nara-edu.ac.jp	対人・社会心理学	教育と対人関係、集団、適応、学習との関連	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語、英語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33004	中山 留美子 教授	nakayama.rumiko @cc.nara-edu.ac.jp	発達心理学	発達段階に応じた生徒指導、協同学習指導	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33005	石井 僚 准教授	rishii @cc.nara-edu.ac.jp	教育臨床心理学	教育心理学、発達心理学、臨床心理学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語、英語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33006	大西 賢治 准教授	onishi.kenji.7o @cc.nara-edu.ac.jp	子ども教育、発達心理学	子どもの心やさしさ、利他性に関する研究	☑その他（幼稚園教諭・保育士）	日本語、英語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33007	粕谷 圭佑 准教授	kasuya.keisuke.fj @cc.nara-edu.ac.jp	教育社会学	子どもの社会化、教育場面の相互行為に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語、英語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33008	藤崎 亜由子 准教授	fujisaki.ayuko.ek @cc.nara-edu.ac.jp	保育学、発達心理学	子どもと生きものとの関わりに関する発達的研究	☑その他（幼稚園教諭・保育士）	日本語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33009	棚橋 尚子 教授	tanahasi @cc.nara-edu.ac.jp	教科教育学、国語教育	国語科教育学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33010	前田 広幸 教授	maedah @cc.nara-edu.ac.jp	日本語学	日本語学研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33011	有馬 義貴 准教授	arimay @cc.nara-edu.ac.jp	日本文学	日本古典文学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33012	橋本 昭典 教授	hashimoto @cc.nara-edu.ac.jp	中国哲学、中国古典学	中国古代の哲学・思想	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33013	山田 実樹 専任講師	yamada.miki.tx @cc.nara-edu.ac.jp	日本語学	日本語学研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1	日本語能力試験N1またはN3に相当する日本語力を持つ者
33014	今 正秀 教授	kon @cc.nara-edu.ac.jp	歴史学	日本古代・中世史(平安時代を中心に)	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33015	西田 慎 教授	mnishida @cc.nara-edu.ac.jp	歴史学	ドイツ現代史（特に戦後史）、ドイツ政治史	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33016	河本 大地 准教授	daichi @cc.nara-edu.ac.jp	地理学	農山村地域研究、観光・地域振興、ESD（持続可能な開発のための教育）	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者

33017	渡邉 伸一 教授	shinichi @cc.nara-edu.ac.jp	社会学	公害・環境問題を中心とする社会学的研究	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33018	梶尾 悠史 准教授	kajio @cc.nara-edu.ac.jp	哲学・倫理学	フッサール現象学、知覚の哲学、倫理学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33019	奥田 喜道 准教授	okuda.yoshimichi.hq @cc.nara-edu.ac.jp	法学	☒イス憲法を中心とした比較憲法	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33020	近藤 裕 教授	ykondo @cc.nara-edu.ac.jp	数学教育	数学教育学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	
33021	舟橋 友香 准教授	yfunahashi @cc.nara-edu.ac.jp	数学教育	数学教育学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	ブラジル　1名、フィリピン　1名、インドネシア　1名
33022	川崎 謙一郎 教授	kawaken @cc.nara-edu.ac.jp	数学	可換代数学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	日常生活において十分に日本語によるコミニュケーションが取れること。
33023	伊藤 直治 教授	naoharu @cc.nara-edu.ac.jp	応用数学	数理工学、応用線形代数学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	
33024	高木 祥司 教授	takagi @cc.nara-edu.ac.jp	統計科学	推定・検定問題における漸近最適性	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	
33025	高橋 亮 准教授	r-takaha @cc.nara-edu.ac.jp	数理解析	偏微分方程式論	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	
33026	梶原 篤 教授	kajiwara @cc.nara-edu.ac.jp	科学教育	高分子化学、磁気共鳴、化学教育	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	
33027	常田 琢 教授	tsuneta @cc.nara-edu.ac.jp	科学教育	凝縮系物理学、物理教育	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	学部卒業程度の物理知識。
33028	中村 元彦 教授	nakamura @cc.nara-edu.ac.jp	科学教育	凝縮系物理学、分光学、物理教育	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	物理学関連の基礎知識を有すること。日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）が望ましい
33029	石田 正樹 教授	masaki @cc.nara-edu.ac.jp	科学教育	原生動物を用いた細胞生物学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	生物学の理学士を有すること。英語あるいは日本語により十分な会話能力があること。 リベリア　1名
33030	和田 穣隆 教授	vwada @cc.nara-edu.ac.jp	地質学	火山地質学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	地質学に関わる基礎的知識を有すること、コミュニケーションが可能であること。
33031	藤井 智康 教授	fujii @cc.nara-edu.ac.jp	水文学・水圏科学・海洋科学	湖沼・沿岸海域の環境動態に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	陸水学・沿岸海洋学の基礎的知識を有することが望ましい。日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）が望ましい
33032	辻野 亮 教授	tsujino @cc.nara-edu.ac.jp	自然環境科学	森林の生態学、人と自然のかかわり	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	当該分野の基礎知識を有すること。コミュニケーションが可能であること。
33033	信川 正順 准教授	nobukawa @cc.nara-edu.ac.jp	科学教育	天文・天体物理学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	当該分野の基礎知識を有すること。コミュニケーションが可能であること。
33034	小長谷 達郎 准教授	konagaya.tatsuro.br @cc.nara-edu.ac.jp	生物学	昆虫の生理生態学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	生物学の基礎知識を有すること。英語か日本語によるコミュニケーションが可能であること。
33035	青木　智史　准教授	aoki.satoshi.u2 @cc.nara-edu.ac.jp	文化財学	文化財科学、博物館学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	文化財の調査経験や文化財科学の基礎知識を有することが望ましい。日本語によるコミュニケーションが可能であること。
33036	劉 麟玉 教授	aslinyu @cc.nara-edu.ac.jp	音楽教育	音楽教育学、民族音楽学、音楽文化史	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、中国語、英語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者 韓国　1名

33037	北條 美香代 教授	mkyhojo @cc.nara-edu.ac.jp	音楽教育	作曲法、編曲法	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33038	水野 亜歴 准教授	mizuno @cc.nara-edu.ac.jp	音楽教育	声楽	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33039	鈴木　啓資　准教授	suzuki.keishi.eo @cc.nara-edu.ac.jp	音楽教育	ピアノ演奏法、ピアノ指導法、ハンガリー音楽	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33040	原山 健一 教授	harayama @cc.nara-edu.ac.jp	美術教育	工芸（陶芸）	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語での会話・読解が可能であること。
33041	北山 聡佳 准教授	s.kitayama @cc.nara-edu.ac.jp	日本文学・書道文化	仮名書法，書写書道教育に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語・中国語	1	日本語での会話・読解が可能であること。
33042	萱　のり子　教授	kaya.noriko.zy @cc.nara-edu.ac.jp	書学・芸術学	日本の芸術論、鑑賞論、書教育の実践研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33043	西村 大輔 准教授	nishimura.daisuke.h4 @cc.nara-edu.ac.jp	日本文学・書道文化	漢字書法，書写書道教育に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33044	樋口　健介 准教授	higuchi.kensuke.ds @cc.nara-edu.ac.jp	美術教育	絵画	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語での会話・読解が可能であること。
33045	高橋 豪仁 教授	takahasi @cc.nara-edu.ac.jp	体育学、スポーツ科学、生涯スポーツ学	生涯スポーツ、スポーツイベントに関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1	日本語での会話が可能であること。 マレーシア　1名
33046	井上 邦子 准教授	kinoue @cc.nara-edu.ac.jp	体育学	スポーツ文化の身体文化論的研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1	日本語の会話・読解ができること。
33047	立 正伸 教授	tachi @cc.nara-edu.ac.jp	スポーツ科学	スポーツバイオメカニクス、トレーニング科学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1	日本語による会話が可能であること。 バイオメカニクス・運動生理学についての基礎的な知識があること。
33048	笠次 良爾 教授	kasanami @cc.nara-edu.ac.jp	スポーツ医学、保健・体育学	学校保健、スポーツ医学(整形外科)	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1	日本語での会話・読解が可能であること。 スポーツ医学または学校保健に関する基礎的な知識があること。
33049	宮尾 夏姫 准教授	miyao.natsuki.6p @cc.nara-edu.ac.jp	体育学、保健体育	体育科教育学、体育科教師教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1	日本語での会話・読解が可能であること。体育科教育学に関する基礎的な知識があること。
33050	杉山 薫 教授	sugiyama @cc.nara-edu.ac.jp	食物学	味覚に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語での会話が可能なこと。 基礎化学・基礎生物学を修得していること。
33051	立松 麻衣子 教授	maiko @cc.nara-edu.ac.jp	生活科学研究	高齢者の生活に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語での会話ができ、生活科学への強い学習意欲があること。
33052	中川 愛 准教授	a-nakagawa @cc.nara-edu.ac.jp	生活科学教育	対乳児行動に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語での会話が可能なこと。日本語の講義が理解できること。
33053	村上 睦美 准教授	mutsumi.m @cc.nara-edu.ac.jp	生活科学教育	家庭科教育に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語での会話が可能なこと。家庭科に関わる基礎的な知識を習得していること。
33054	佐藤 臨太郎 教授	sato.rintaro @cc.nara-edu.ac.jp	外国語教育	第二言語習得研究　英語教育学 応用言語学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	2	英語運用能力。 フィリピン　1名、インドネシア　1名
33055	門田 守 教授	kadotam @cc.nara-edu.ac.jp	英語英文学	19世紀イギリス詩及び小説の研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語並びに英語の十分な運用能力、英文学の基礎的理解
33056	米倉 陽子 教授	yoko-yone @cc.nara-edu.ac.jp	言語学	文法化・主体化・意味変化に見られる規則性	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	認知言語学の基礎的素養、英語・日本語運用能力

33057	吉村 雅仁 教授	yshmr @cc.nara-edu.ac.jp	言語教育、国際教育	言語意識、国際理解教育、小学校外国語教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	2	
33058	古田 壮宏 教授	takef @cc.nara-edu.ac.jp	教育方法学	情報教育・ICT活用・e-learning	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33059	伊藤 剛和 教授	takekazu @cc.nara-edu.ac.jp	教育方法学、学校教育支援、教育内容・方法開発	情報教育、情報モラル教育、情報活用能力	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33060	中澤 静男 教授	nakazawa @cc.nara-edu.ac.jp	総合教育開発	学校教育におけるESDの研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33061	竹村 謙司 教授	takemura.kenji.n3 @cc.nara-edu.ac.jp	教師教育、算数・数学教育	教員研修、養成と研修の一体化、教科指導法（算数・数学）	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33062	赤沢 早人 教授	akazawa @cc.nara-edu.ac.jp	教育方法学、教育課程論	授業研究、カリキュラム・マネジメント	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33063	和泉元 千春 教授	izumimotoc @cc.nara-edu.ac.jp	日本語教育	日本語教育学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語・英語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3程度）
33064	南雲 勇多 専任講師	nagumo.yuta.8z @cc.nara-edu.ac.jp	国際教育、異文化間協働	開発教育、国際理解教育、子どもの権利	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	2	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33065	市来 百合子 教授	ichiki @cc.nara-edu.ac.jp	教育臨床心理学、カウンセリング	臨床心理学,教育臨床心理学, 芸術療法	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本、英語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33066	及川　幸彦　准教授	oikawa.yukihiko.rj @cc.nara-edu.ac.jp	地球環境学、防災・減災、持続可能社会創成学環、総合教育開発	ESD/SDGsの研究、環境教育、防災・減災教育、海洋教育、カリキュラムマネジメント	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33067	中井 隆司 教授	nakai @cc.nara-edu.ac.jp	教職開発、教職実践開発	教師教育, 授業研究、実践開発	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33068	前田 康二 教授	maedakoji @cc.nara-edu.ac.jp	教師教育、英語教育	教員研修、英語指導法	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	2	ミャンマー　1名、パキスタン　1名、韓国　1名、 マラウイ　1名、マレーシア　1名
33069	小林 昇光 専任講師	kobayashi.norihiko.2 @cc.nara-edu.ac.jp	教育行政学、スクールマネジメント	学校経営、学校ガバナンス、地方教育行政	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☑を付けてください。

奈良女子大学（奈良県）

附属学校園との連携による実践的指導及び研究テーマに対応した少人数教育の徹底

◇大学紹介

①大学の概要

本学は、1908年に創設された奈良女子高等師範学校を前身としており、2019年5月には創立110年を迎えました。この間我が国における女性の最高教育機関としての役割を担ってきました。

キャンパスは歴史的遺産の宝庫である奈良市中心部の交通至便な場所に位置します。文学部、理学部、生活環境学部、工学部の4学部を擁し、文系理系がバランス良く配置されています。また、高度な教育研究を担う大学院人間文化総合科学研究科は、文理融合の学際的な研究を特色としています。小規模ながらも個性ある教育・研究を推進することを目指しています。教員数は約200名、学生数は2,600名であり、きめ細やかな少人数教育が特徴です。

また、本学は、基本理念の一つとして、「開かれた大学―国際交流の推進と地域・社会への貢献―」を掲げており、国際戦略センターを中心に様々な取り組みを行っています。2023年5月1日現在、アジアを中心に54の大学と協定を締結しており、約130名の留学生が在籍しています。

②国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績
2023年度： 129名（2023.5.1現在）
2022年度： 134名（2022.5.1現在）
2021年度： 153名（2021.5.1現在）

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績
2023年度： 0名（2023.5.1現在）
2022年度： 0名（2022.5.1現在）
2021年度： 0名（2021.5.1現在）

◇教員研修コースの概要・特色

①研修コースの特色
・受入れ学部・研究科は、文学部、人間文化総合科学研究科
・教育学・人間学コースの教員と連携を取って指導
・少人数のゼミと個別的な指導
・附属幼稚園、小学校、中等教育学校との連携や近隣諸学校の協力による実践的指導

②受入定員　3人

③奨学金支給期間　2024年10月～2026年3月

④コースの修了要件

概ね28単位の講義・演習を受講し、最終試験に合格することが必要。

⑤研修コースの概要

基本的には半年間の日本語予備教育の後、1年コースに参加。

日本語能力試験N2レベル以上であると認められる場合、日本語予備教育を受けず、1年半コースで受入れます。

・日本語教育
　・日本語コース実施機関で半年間の予備教育を受ける。
　・本学入学後は、本学開設の日本語科目の授業（初級～上級）の受講が可能。
　・日本語その他（専門教育分野の事項）の補助的指導を受けられるチューター制度あり。
　・ビジネス日本語の受講が可能。
・専門教育
　【1年コース】もしくは【1年半コース】
　・研究テーマに応じた個別的な指導を行う。
　・講義、演習科目も受講できる。
・実習・見学・地域交流等の参加型科目
　・附属校園での実践的研究
・その他

留学生を対象に、生け花教室や茶道体験教室など、日本文化を体験する機会を提供しているほか、留学生と日本人学生の交流事業や研修旅行も実施しています。

◇修了生へのフォローアップ

・Eメールによる相談
・卒業修了留学生向けメールマガジンによる情報提供

◇宿　舎

【国際交流会館、国際学生宿舎】

専門教育期間中は、空室があればどちらかに入居することができます。

〇宿舎数
・単身用　国際交流会館36室、国際学生宿舎32室
・夫婦用　国際交流会館1室
・世帯用　国際交流会館1室

〇宿舎費
・国際交流会館(単身室):家賃5,900円/月、退去時清掃費及び光熱水費等20,000円(入居時)
・国際学生宿舎:家賃4,700円/月、清掃費8,000円(退去時)
※どちらの宿舎も共益費、光熱水費が毎月別途必要

〇宿舎設備・備品

どちらの宿舎もベッド、机、イス、本棚、クローゼット、トイレ、バス完備。キッチン、洗濯室は共用。

〇宿舎周辺の生活情報、通学時間

国際学生宿舎･国際交流会館は大学から徒歩5分以内のところにあり、どちらも通学に便利です。最寄り駅からも徒歩5分程度で、駅周辺には店も多く、生活にも便利なところです。

◇問合せ先

担当部署:奈良女子大学国際課留学生係
連絡先:〒630-8506　奈良市北魚屋東町
Tel: 0742-20-3240　Fax: 0742-20-3309
E-mail: ryugakusei@cc.nara-wu.ac.jp
URL: http://www.nara-wu.ac.jp/

大学名： 奈良女子大学（大学番号34）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	文学部・人間文化総合科学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
34001	藤井 康之	yakororin@yahoo.co.jp	音楽教育	音楽教育に関する指導	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	計3人	大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須
34002	小野寺 香	onodera@cc.nara-wu.ac.jp	教育学	比較教育学に関する指導	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語		大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須
34003	柳澤 有吾	y-yanagi@cc.nara-wu.ac.jp	倫理学	倫理学の理論と応用に関する指導	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語		大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須
34004	鈴木 康史	kosuzu@cc.nara-wu.ac.jp	人間文化学	身体の文化学的研究に関する指導	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語		大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須
34005	保田 卓	tyasuda@cc.nara-wu.ac.jp	社会学	教育社会学に関する指導	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語		大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須
34006	二井 仁美	tyasuda@cc.nara-wu.ac.jp	教育学	教育史に関する指導	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語		大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☑を付けてください。

鳥取大学（鳥取県）

地域が抱える多種多様な問題を学術的かつ実践的に解決するための教育研究

◇大学紹介

①大学の概要

鳥取大学は、地域学部、医学部、工学部、農学部で構成されています。「知と実践の融合」を基本理念として、教育、研究及び社会貢献に取り組み、地域に根差し国際的に飛躍する大学として、多方面にわたって精力的な活動を行い、地域と世界の発展に寄与しています。

持続性社会創生科学研究科・地域学専攻は、地域社会の再生・発展に向けて、地域が抱える多種多様な問題を学術的かつ実践的に解決するための教育研究を行うとともに、個別専門領域に関わるスペシャリスト（高度専門職業人）を養成することを目的としています。

②国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2023年度：183（31カ国）

2022年度：161（28カ国）

2021年度：150（27カ国）

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2023年度：1

2022年度：1

2021年度：1

◇教員研修コースの概要・特色

①研修コースの特色

本プログラムでは、山陰地方及び環日本海文化圏の地域特性を考慮して、教育の国際化・情報化及び生涯教育・福祉教育など、幅広い分野について学ぶことができます。

②受入定員　１名

③奨学金支給期間

2024年10月～2026年3月

④コースの修了要件

特定の修了要件は定めていません。

受入期間満了でコース修了となります。

希望する学生には、修了証を発行します。

⑤研修コースの概要

・日本語教育

2024年10月～2025年3月の半年間、文部科学省が指定する大学の日本語集中研修コースで日本語研修を受けます。その後、専門教育を実施する2025年4月～2026年3月の1年間は、鳥取大学の総合日本語コースを受講することが可能です。プレースメントテストでレベルを判断し、それぞれのレベルに合わせて、総合的な日本語能力を身につけます。

・専門教育

ｱ）期間：2025年4月～2026年3月（1年間）

ｲ）形態・内容

大学院の留学生と同様に指導教員による個別指導を受けて、各自の研修課題について深く研究します。留学生のニーズに応じて、専攻分野に関連する科目を受講します。

・見学・地域交流等の参加型科目

日本事情科目において、地域の文化的施設等を見学する機会を設けています。

・その他

小・中・高校での交流会、地域交流イベント等、様々な行事にも参加し、地域住民との交流や、日本文化の体験をすることができます。

小学校での交流会

高校での交流会

文化体験

地域交流イベント

◇修了生へのフォローアップ

連絡先等をデータ化し、帰国後もメールやSNSなどを活用し、必要に応じて助言を与えるなどのフォローアップを行っています。

◇宿　舎

〇宿舎数

・単身用　50室

・夫婦用　6室

・世帯用　3室

〇宿舎費

・単身用 5,000～6,000円

・夫婦用 12,000円

・世帯用 15,000円

〇宿舎設備・備品

ベッド、机、椅子、書棚、タンス、シューズボックス、冷蔵庫、電気スタンド、電気ポット、エアコン、煙探知機、Wi-Fi、懐中電灯、トイレ、共同設備として、キッチン、シャワー室、洗濯室、ラウンジ、和室があります。

〇宿舎周辺の生活情報、通学時間

周辺に交番、消防署、病院、スーパーあり。コンビニエンスストア、スーパーマーケットまで徒歩15分。通学時間徒歩15分。

◇問合せ先

・専門教育担当部署

鳥取大学地域学部教務係

住所：〒680-8551

鳥取市湖山町南4丁目101

TEL：＋81-857-31-5077（直通）

FAX：＋81-857-31-5076

E-mail：reg-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp

ホームページ:

https://www.rs.tottori-u.ac.jp/

・日本語教育／生活担当部署

鳥取大学学生部国際交流課

住所：〒680-8550

鳥取市湖山町南4丁目101

TEL：+81-857-31-5056（直通）

FAX：+81-857-31-6065

E-mail：kokuko-gaku@ml.adm.tottori-u.ac.jp

ホームページ：

https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja

大学名： 鳥取大学（大学番号36）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	持続性社会創生科学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
36001	河合 務 教授	tkawai@tottori-u.ac.jp	教育思想	教育の思想、西洋教育史	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	大学在学中に教育学を専攻した者。
36002	田中 大介 准教授	tanaka@tottori-u.ac.jp	発達・認知心理学	認知発達、認知機能に関する実験的アプローチ	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語		大学在学中に心理学を専攻した者。
36003	寺川 志奈子 教授	stera@tottori-u.ac.jp	発達・教育心理学	子どもの発達と教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語		大学在学中に心理学を専攻した者。
36004	畑 千鶴乃 准教授	chizuno@tottori-u.ac.jp	児童福祉学	児童福祉政策	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語		大学在学中に児童福祉学を専攻した者。
36005	谷中 久和 准教授	yanaka@tottori-u.ac.jp	脳科学・心理学	脳科学・心理学およびそれらを基礎とした障害の理解	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語		大学在学中に心理学を専攻した者。
36006	鈴木 慎一朗 教授	suzuki@tottori-u.ac.jp	音楽科教育	音楽科教育に関すること	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
36007	小笠原 拓 教授	taku@tottori-u.ac.jp	国語科教育	教育の実践的研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
36008	関 耕二 准教授	sekikoji@tottori-u.ac.jp	体育学	運動生理学・体育方法学分野からの研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
36009	高橋 健司 教授	ktakahasi@tottori-u.ac.jp	社会科教育	社会科の実践的研究・教材開発研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
36010	泉 直志 准教授	izumi@tottori-u.ac.jp	理科教育学	理科教育学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
36011	福山 寛志 講師	hfukuyama@tottori-u.ac.jp	発達心理学	乳幼児の認知・運動発達及び親子相互作用に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
36012	石山 雄貴 准教授	ishiyama@tottori-u.ac.jp	地域教育計画論	持続可能な地域づくりに向けた教育の役割に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
36013	呉 永鎬 准教授	o.yongho@tottori-u.ac.jp	教育社会学	脱植民地化と教育、マイノリティと教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
36014	青山 聡 講師	s.aoyama@tottori-u.ac.jp	英語教育学	第二言語習得研究に基づく英語科教育法の研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
36015	渡邉 正人 講師	m-watanabe@tottori-u.ac.jp	特別支援教育学	特別支援教育学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語		大学在学中に教育学を専攻した者。
36016	中尾 泰斗 准教授	t_nakao@tottori-u.ac.jp	美術	絵画制作や美術教育に関すること	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語		大学在学中に絵画を専攻した者

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☑を付けてください。

島根大学 （島根県）

伝統文化が色濃く残る地方都市で，地域の教育団体との交流も交えながら研修を行う。

(1)大学紹介

①大学の概要

島根大学は7学部と4研究科で構成される中規模総合大学である。温かい指導と人情豊かな雰囲気の中で行われる少人数教育が大学の特色の一つで、授業内外で教員とのふれあいの機会も多く、留学生同士また日本人学生との交流も活発である。

松江市は、島根県の県庁所在地である。人口は約20万人。
宍道湖、日本海、中国山地に囲まれた自然豊かな美しい地方都市であり、国際文化観光都市にも指定されている。

城下町として知られ、茶道や和菓子の文化が栄え、周辺には神社や仏閣、史跡、温泉が点在している。他県と比べ、島根県内に在住する外国人は少ないが、地域の人々との交流が盛んである。治安もよく、冬には時々雪が降るが、年間を通して気候は穏やかで住みやすい。

・学生数(2023年10月1日現在)

6049名

②国際交流の実績(2023年10月1日現在)

・交流協定：26ヵ国100大学・機関

・過去3年間の留学生の受入実績

2023年度：247名
2022年度：230名
2021年度：228名

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2023年度：3名
2022年度：1名
2021年度：0名

(2)教員研修コースの概要・特色

①研修コースの特色

附属学校を始めとする地域の教育施設や、教育団体との連携による個別指導を中心とした研修を実施

②受入定員　10 名

③奨学金支給期間

2024年10月~2026年3月

④コースの修了要件

指導教員によって異なるが、各留学生のテーマに沿った研究内容についての論文指導を概ね320時間受講し，論文を発表する。

⑤研修コースの概要

・日本語教育

文部科学省が指定する大学の日本語研修コースで半年間の日本語研修を受ける。日本語研修コース修了後，島根大学では日本語補講にて日本語を学習する。

・専門教育

留学生各人の研究テーマに沿った特別カリキュラムと個人指導との組み合わせによる講義の受講・自習を行う。

・見学・地域交流等

地域の中学，高校など，教育施設への訪問。

・日本人学生との共修の機会、日本文化の体験等

日本人学生と地域イベントの参加，各種研修（スキー研修等）による学生間，地域間交流，学内での国際交流イベント参加等

観光名所

松江城（国宝）

出雲大社（国宝）

◇修了生へのフォローアップ

・修了生には修了証を発行

・各国島根大学留学生同窓会への参加

◇宿　舎

島根大学には，大学から徒歩10分圏内に留学生用宿舎（国際交流会館）と，学生寮があり，入居申込をすることが出来る。入居期間は最大1年間。ただし，入居希望者が多い場合は，入居できない場合がある。その場合は大学付近の民間アパートに入居することになる。（月額家賃ワンルームタイプは3万円～5万円位，共同タイプは1万5000円～2万5000円位）

宿舎の詳細については下記URLを参照してください。（国際交流会館，学生寮共に宿舎費，設備，備品等について記載があります。

※学生寮の場合，A棟，B棟，C棟によって備品等が異なります。）

https://kokusai.shimane-u.ac.jp/kaigairyugakusei/japanese/#housing

※国際交流会館，大学寮いずれの宿舎も渡日前に宿舎の前払いを求められることはありません。

〇宿舎周辺の生活情報、通学時間

徒歩10分内にバス停、24時間営業の大型スーパー、病院，各種食堂など

松江市地域イベント

◇問い合わせ先

〒690-8504
島根県松江市西川津町1060
島根大学国際課留学生交流担当
Tel：+81-（0）852-32-6041
Fax：+81-（0）852-32-6481
E-mail：ied-ryugaku@office.shimane-u.ac.jp
島根大学国際センターH.P:
https://kokusai.shimane-u.ac.jp

大学名：　島根大学（大学番号37）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学部							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去５年間の受入国、人数）
37001	廣兼 志保 教授	shiho-h@edu.shimane-u.ac.jp	保健体育・舞踊教育学	体育科教育・ダンス教育	☑小学校教員 ☐中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実績0人。
37002	石野 陽子 教授	yoko-ishino@edu.shimane-u.ac.jp	発達心理学	発達心理学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	2	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者。当方、中国語学習者です。過去5年間の受入実績0人。
37003	深見 俊崇 教授	t-fukami@edu.shimane-u.ac.jp	教職教育	教員養成・教育工学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語・英語	1	日本語または英語での会話が可能であること、過去５年間の受け入れ実績受入国ミャンマー　受入数1人。
37004	香川 奈緒美 准教授	kagawa@edu.shimane-u.ac.jp	人間コミュニケーション学・教育社会学	コミュニケーション論・教育社会学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語・英語	1	日本語または英語での会話が可能であること、実績受入国ナイジェリア　受入数1人。
37005	冨安 慎吾 准教授	tomiyasu@edu.shimane-u.ac.jp	国語教育	国語教育	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語・英語	1	大学で当該分野を専攻した者、英語能力を持ち、日本語能力をある程度持つ者、過去5年間の受入実数0人。
37006	下村 岳人 講師	tshimomura@edu.shimane-u.ac.jp	数学教育	算数教育	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去５年間の受け入れ実績0人。
37007	正岡 さち 教授	sachi@edu.shimane-u.ac.jp	住居学	住居学・住教育	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	日本語能力を有する者、過去5年間の受入実績0人。
37008	小早川 倫美 講師	kobayakawat@edu.shimane-u.ac.jp	教育行政学	教育行政学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実績0人。
37009	早川 知宏 助教	hayakawa@edu.shimane-u.ac.jp	教育方法学	教育方法学	☑小学校教員 ☐中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実績0人。
37010	竹田 健二 教授	takeda@edu.shimane-u.ac.jp	中国哲学	漢文学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	日本語のできる者，過去5年間の受入実数0人。

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☑を付けてください。

大学名：　島根大学（大学番号37）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学部							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去５年間の受入国、人数）
37011	百留 康晴 教授	yhyakutome@edu.shimane-u.ac.jp	日本語学	日本語史・語彙意味論	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語のできる者，過去5年間の受入実数0人。
37012	林 高宣 教授	hayashit@edu.shimane-u.ac.jp	英語教育学・言語学	英語学・言語学	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語・英語	1	当該分野を専攻し、日本語及び英語能力に支障のないこと，過去5年間の受入実数0人。
37013	縄田 裕幸 教授	nawata@edu.shimane-u.ac.jp	英語教育学・言語学	英語学・言語学	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語・英語	1	当該分野を専攻し、日本語及び英語能力に支障のないこと，過去5年間の受入実数0人。
37014	猫田 英伸 准教授	nekodah@edu.shimane-u.ac.jp	英語教育学	英語・英語教育（研究）	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語・英語	1	当該分野を専攻し、日本語及び英語能力に支障のないこと，過去5年間の受入実数0人。
37015	長谷川 博史 教授	hasegawai@edu.shimane-u.ac.jp	日本史学	日本中世史	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語の史料読解に取り組めること。 過去5年間の受入実績0人。
37016	富澤 芳亜 教授	y-tomi@edu.shimane-u.ac.jp	東洋史学	東アジア近現代史	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語での会話が可能であること。 過去5年間の受入実績0人。
37017	作野 広和 教授	hsakuno@edu.shimane-u.ac.jp	人文地理学・農業経済学	農村地理学・農村地域開発	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語又は英語	1	日本語または英語での会話が可能であること，過去５年間の受け入れ実績受入国マラウイ　受入数2人。
37018	宇都宮 明子 准教授	autsunom@edu.shimane-u.ac.jp	教科教育実践開発	社会科教育実践学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語での会話が可能であること。 過去5年間の受入実績0人。
37019	諸岡 了介 教授	morooka@edu.shimane-u.ac.jp	社会学	理論社会学・現代社会論	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語又は英語	1	日本語又は英語での会話が可能であること。 過去5年間の受入実績0人。
37020	池松 辰男 講師	ikematsu@edu.shimane-u.ac.jp	哲学	近代ドイツ哲学・西洋倫理思想史	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語の哲学・倫理学の文献を講読できること。 過去5年間の受入実績0人。

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☑を付けてください。

大学名：　島根大学（大学番号37）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学部							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去５年間の受入国、人数）
37021	御園 真史 教授	misono@edu.shimane-u.ac.jp	数学教育	数学教育学と教育工学を基盤とした数学における授業研究と授業デザイン	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語・英語	2	日本語または英語ができること，過去5年間の受入実数0人。
37022	塚田真也 准教授	tsukada@edu.shimane-u.ac.jp	物理学	物理教育・固体物理学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語・英語	1	大学で当該分野を専攻した者。過去5年間の受入実数0人。
37023	長谷川裕之 准教授	hasegawa.hiroyuki@edu.shimane-u.ac.jp	物質科学	固体化学・有機電子材料・ナノテクノロジー	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語・英語	1	当該分野の学士号。日本語または英語の日常会話。過去5年間の受入実数0人。
37024	辻本 彰 講師	tsujimoto@edu.shimane-u.ac.jp	地球環境学	地質学・微古生物学・環境地質学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語・英語	1	地球科学分野の学士号。日本語と英語の日常会話。過去5年間の受入実数0人。
37025	西村 覚 准教授	satoru-n@edu.shimane-u.ac.jp	健康教育学	健康教育学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実数0人。
37026	原 丈貴 准教授	thara@edu.shimane-u.ac.jp	スポーツ健康科学	運動生理学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実数0人。
37027	須﨑 康臣 講師	susaki@edu.shimane-u.ac.jp	体育科学	体育心理学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実数0人。
37028	河添 達也 教授	kawasoi@edu.shimane-u.ac.jp	作曲	作曲実技	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実数0人。
37029	藤井 浩基 教授	kofujii@edu.shimane-u.ac.jp	音楽教育学	音楽科教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実数0人。
37030	佐々木 直樹 教授	n-sasaki@edu.shimane-u.ac.jp	声楽	声楽	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実数0人。

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☑を付けてください。

大学名：　島根大学（大学番号37）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学部，教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去５年間の受入国、人数）
37031	小坂 達也 准教授	kosaka_t@edu.shimane-u.ac.jp	器楽	金管楽器	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実数0人。
37032	藤田 英樹 教授	hidekif@edu.shimane-u.ac.jp	彫刻	彫刻制作	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語の出来る者，過去5年間の受入実数0人。
37033	小谷 充 教授	kotani@edu.shimane-u.ac.jp	デザイン	デザイン	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語の出来る者，過去5年間の受入実数0人。
37034	有田 洋子 准教授	arita@edu.shimane-u.ac.jp	芸術教育	美術科教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実数0人。
37035	野村 真弘 講師	nomura_m@edu.shimane-u.ac.jp	絵画	絵画制作	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語の出来る者，過去5年間の受入実数0人。
37036	久保 研二 准教授	kuboken@edu.shimane-u.ac.jp	教科教育学	体育科教育学，教師教育学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語・英語	1	日本語または英語での会話が可能であること、過去5年間の受入実数0人。
37037	川路 澄人 教授	kawaji@edu.shimane-u.ac.jp	美術教育・初等芸術教育学	美術科教育・小学校図画工作科教育	☑小学校教員 □中高教員 □その他（　）	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実績0人。
37038	橋爪　一治 教授	hashitsume@edu.shimane-u.ac.jp	技術教育	技術科教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語・英語	1	日本語または英語での会話が可能であること、過去5年間の受入実数0人。

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☑を付けてください。

岡山大学（岡山県）

歴史ある総合大学として培った知見を活かしつつ，県内の学校と連携して教育実践を学ぶことが出来ます。

◇大学紹介

①大学の概要

１）特色と歴史

岡山大学は1949年に設立された国立大学ですが，その前身は1922年設立の岡山医科大学，1900年設立の第六高等学校などで，長い伝統があります。設立後発展を重ね，2021年4月から工学部と環境理工学部を再編統合して新しく生まれ変わった工学部をはじめとし，現在では文学部，教育学部，法学部，経済学部，理学部，医学部，歯学部，薬学部，農学部の10学部2023年4月大学院自然科学研究科と大学院環境生命科学研究科を再編・統合しスタートし，学位プログラム制を導入した大学院環境生命自然科学研究科をはじめとし，教育学研究科，社会文化科学研究科，保健学研究科，医歯薬学総合研究科，ヘルスシステム統合科学研究科，法務研究科の7大学院を擁する全国で有数の総合大学です。

国際交流に力を入れているのが本学の特色のひとつです。本学に在籍している外国人留学生に対しての日本語教育は，教育推進機構が担当し，受入れや奨学金のサポートは国際部，生活面のサポートや履修指導は受入部局が行っています。

また，本学はSDGsに関する先進的な取り組みを行っており，その取り組みが評価され2017年12月には，日本政府のSDGs推進本部が選定する第1回「ジャパンSDGsアワード」の特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を受賞しました。

２）地域の特色

岡山県は日本の西部にある中国地方に位置し，瀬戸内海に面しています。水島工業地帯を抱え工業が盛んであるとともに，農産物や水産物が豊かな県です。岡山は温暖な気候で，地震や台風などの自然災害もほとんどなく，日本で最も安心・安全で住みやすい地域と言われています。

岡山大学のある岡山市は岡山県の県庁所在地で，この地方の政治，経済，教育，文化の中心地のひとつです。岡山市の人口は約72万人です。

岡山市は利便性に富んでおり新幹線を利用すれば，東京から3時間30分，新大阪から45分で岡山市に着きます。

〇学生数　(2023年5月1日現在)

学部学生：10,121人　大学院生：3,104人

② 国際交流の実績(2023年5月)

〇大学間交流協定数：183件

〇部局間交流協定数：214件

・過去3年間の留学生の受入れ実績(各年5月1日現在)

2023年度：911人

2022年度：798人

2021年度：744人

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績(各年5月1日現在)

2023年度：1人

2022年度：1人

2021年度：0人

教員研修留学生は，1980年から毎年1～8人受入れ，現在までに延べ21ヶ国162人を受け入れています。

◇教員研修コースの概要・特色

①研修コースの特色

日本語予備教育が必要な研修生には6ヶ月間初歩から日本語と日本事情に関する研修を集中的に行います。

その後，それぞれの研修生が深めたい専門教育を1年間行い研修生の研修目的を十分に達成させます。

日本語予備教育が不要であると指導教員が判断した場合は，半年間の日本語教育を省く，もしくは補講程度の扱いとし既存の研修内容を充実させた１年半の専門教育を渡日後10月から受けることが可能です。

専門教育においては指導教員を決め，研究科において学業面の指導・生活面の支援を行います。

継続的に日本語学習を行いたい学生は，教育支援機構が提供する全学日本語コースの科目を履修することが可能です。

②受入定員

12人以内

③奨学金支給期間

2024年10月～2026年3月

④コースの修了要件

週10時間相当以上の研究・科目履修が必要です。

詳しくは下記コース概要を参照ください。

また，受入れ条件に日本語能力を課しているコースがありますので，ご留意ください。

⑤研修コースの概要

・日本語教育

・10月から3月までの6ヶ月間，教育推進機構において日本語予備教育として，日本語及び日本事情を原則として600時間実施します。

・研修生の日本語学習歴に応じ，また漢字圏，非漢字圏に分けてクラス編成しています。

・研修生のレベルに応じて補講を行っています。

・日本語予備教育終了後も継続し，教育推進機構が実施する全学日本語コースの科目履修が可能です。

・専門教育

【1年コース】※日本語予備教育受講の場合

・指導教員との面談を通じて，教員研修留学生の関心や日本語能力に応じて研究計画を設定します。
研究計画や教員研究留学生の希望に沿って，大学の講義や近隣の小・中学校での授業観察等を組み合わせたプログラムを受講します。

【1年半コース】※日本語予備教育を受講しない場合

・日本語予備教育が不要であると指導教員が判断した場合は，渡日後10月から専門教育を受けることが可能です。

※事前に指導教員との面談を行う可能性があります。

・見学・地域交流等の参加型科目

・岡山県内の公立小・中学校や岡山大学附属小・中学校等での授業見学や国際交流を行います

◇修了生へのフォローアップ

岡山大学は，これまでに109か国・地域，5,000名を超える留学生を輩出しており， 2011年10月に岡山大学国際同窓会を設立しました。 また，ホームカミングデイを開催し，同窓生や留学生の交流の場を設けています。

母校と同窓生および同窓生同士の交流を深めるため、世界各国に支部を設立し，学生の交換留学や大学教職員の交流を促進し，母校と同窓生との絆を深めています。2021年4月現在，28か国に55支部（7通信拠点含む）が設立されています。今後，更に海外での活動を充実させ，本学修了生へのフォローアップに務めていく予定です。

国際同窓会HP
https://alumni.ouic.okayama-u.ac.jp/

また，修了生のうち，より深く専門分野を本学で学びたい学生が本学に戻ってくるケースが増えています。

◇宿　舎

教員研修留学生は，渡日直後の半年間は岡山大学外国人留学生・研究員宿泊施設に優先して入居することができます。

宿舎費は次のとおりです。宿舎費の他に，入寮費30,000円と光熱水道料金が必要です。宿舎費や入寮費等の支払いは入居後となります。

〇宿舎数，宿舎費(単身者用)

・桑の木留学生宿舎：室数 151

宿舎費：月額 14,000円 ～ 16,000円

・国際交流会館：室数 18

寄宿料：月額 27,000円

・福居留学生宿舎：室数 21

寄宿料：月額 28,000円

※宿泊費等は改定する場合があります。

※宿泊施設は自分の居室も含め，全館禁煙です。

※配偶者が岡山県在住の場合は宿舎への入居はできません。

※希望する宿舎を選ぶことはできません。

〇宿舎設備・備品：

机，椅子，ベッド，ユニットバス，トイレ，ミニキッチン，冷蔵庫，冷暖房機

〇宿舎周辺の生活情報・通学時間：

キャンパスまで徒歩10～15分程度。徒歩圏内にショッピングモールがあります。

◇問合せ先

大学所在地：岡山県岡山市北区津島中３丁目1-1

担当部署： 岡山大学教育学系教職支援グループ

ＴＥＬ ：+81-86-251-7588

E-mail ：hgg7598●adm.okayama-u.ac.jp

●を@に置き換えてください

ＵＲＬ ： https://www.okayama-u.ac.jp/

大学名：　岡山大学（大学番号38）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
38001	木村 功	kimutaku@okayama-u.ac.jp	日本文学	日本近代文学の研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	国語教育講座全体で１名	日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者、大韓民国１名
38002	浮田 真弓	maukida@okayama-u.ac.jp	国語教育	国語科教育の授業改善とカリキュラムに関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
38003	土屋 聡	tsuchi-s@okayama-u.ac.jp	中国古典学	漢文学の研究	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
38004	又吉 里美	satomim@okayama-u.ac.jp	日本語学	日本語の分析	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
38005	池田 匡史	masa_ikeda@okayama-u.ac.jp	国語教育	国語科教育における学習設計論・カリキュラム論	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
38006	大熊 正哲	ohkuma@okayama-u.ac.jp	応用経済学	金融論及びその他の応用経済学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 又は英語	１名	日本語又は英語を読む・書く・話すことができること、ジンバブエ１名
38007	川田 力	tkawada@okayama-u.ac.jp	人文地理学	日本地誌および地理教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、 英語、独語	１名	日本語もしくは英語，独語の話せる者
38008	桑原 敏典	kuwabara@okayama-u.ac.jp	社会科教育	社会科教育のカリキュラム、授業構成についての研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	１名	日本もしくは英語を読み・話すことができる者
38009	高田 宏史	h_takada1978@okayama-u.ac.jp	政治学	西洋政治思想史および政治哲学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	１名	日本語もしくは英語を読む・書く・話すことができる者
38010	松多 信尚	matta@okayama-u.ac.jp	地理学	地形学および災害の地理学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	１名	日本語又は英語が話せること。ブータン1名
38011	村井 良介	murair@okayama-u.ac.jp	日本史学	日本中世史	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	１名	日本語を読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
38012	山田 秀和	hiyamada@okayama-u.ac.jp	社会科教育	社会科教育のカリキュラム、授業構成についての研究（歴史教育中心）	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	１名	日本語を読み・書き・話すことができる者、ガーナ1名
38013	矢口 啓朗	hiroaki.yaguchi@okayama-u.ac.jp	西洋史	ウィーン体制及びロシア外交史	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	１名	日本語または英語を読み・書き・話せる者
38014	岡崎 正和	masakazu@okayama-u.ac.jp	数学教育	算数・数学教育における理解論、授業設計論	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	１名	日本語又は英語が話せること
38015	石橋 一昴	iishibashi@okayama-u.ac.jp	数学教育	算数・数学教育における授業設計論	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	１名	日本語が話せること
38016	中村 登	n-nakamu@okayama-u.ac.jp	数学	関数解析学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	１名	日本語又は英語が話せること

38017	中川 征樹	nakagawa@okayama-u.ac.jp	数学	トポロジー	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	１名	日本語又は英語が話せること
38018	宮内 通孝	miyauchi@okayama-u.ac.jp	数学	整数論	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	１名	日本語又は英語が話せること
38019	仲田 研登	nakada@okayama-u.ac.jp	数学	表現論、組合せ論	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	１名	日本語又は英語が話せること
38020	安藤 元紀	andom@okayama-u.ac.jp	生物学	細胞生理学，生物物理学，形態学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	１名	英語又は日本語ができること
38021	石川 彰彦	teruhiko@okayama-u.ac.jp	化学	新規合成反応の開発	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	１名	英語又は日本語ができること
38022	稲田 佳彦	y-inada@okayama-u.ac.jp	物理学・理科教育	物理教育、STEAM教育、物性研究（超伝導。磁性。極低温実験）	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	１名	英語又は日本語ができること、フィリピン１名
38023	藤井 浩樹	fujii-hi@okayama-u.ac.jp	理科教育	理科カリキュラム、理科学習指導の研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	１名	英語又は日本語ができること
38024	原田 太郎	tarohara@okayama-u.ac.jp	生物学	植物学、園芸学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1名	英語又は日本語ができること
38025	早川 倫子	rinko@okayama-u.ac.jp	音楽教育	音楽科教育、乳幼児の音楽的発達	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	音楽教育講座全体で1名	日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
38026	長岡 功	isaon@okayama-u.ac.jp	器楽（ピアノ）	ピアノ作品の解釈と演奏法の研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		大学での鍵盤楽器の学修経験があること
38027	諸田 大輔	d-morota@okayama-u.ac.jp	器楽（管楽器）	管楽器作品の解釈と演奏法の研究、（特にフルート）	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		大学での管楽器の学修経験があること
38028	赤木 里香子	rikako@okayama-u.ac.jp	美術教育	美術、工芸教育、美術理論	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	美術教育講座全体で１名	日本語が話せること
38029	山本 和史	kazuyama@okayama-u.ac.jp	工芸工業デザイン学	木材工芸、材料の加工法、工業デザイン	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		日本語が話せること
38030	清田 哲男	kiyota925@okayama-u.ac.jp	美術教育	美術、工芸教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		日本語が話せること
38031	松浦 藍	matsuura522@okayama-u.ac.jp	美術教育	美術教育、絵画教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		日本語が話せること
38032	足立 稔	adachi@okayama-u.ac.jp	保健学	健康教育，予防医学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	１名	日本語が話せること
38033	原 祐一	yuichi@okayama-u.ac.jp	保健体育	体育科教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	１名	日本語が話せること
38034	髙橋 徹	t.takahashi@okayama-u.ac.jp	体育学	体育哲学・体育思想に関係する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	１名	日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
38035	李 環媛	leekw@okayama-u.ac.jp	家庭経営	家族関係	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	家政教育講座で１名	日本語が話せること
38036	篠原 陽子	sw20@okayama-u.ac.jp	被服学	被服整理学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		日本語が話せること

38037	詫間 千晴	tkmc@okayama-u.ac.jp	家政教育	家政教育，家庭科教育における授業設計論	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		日本語が話せること
38038	入江 隆	irie@okayama-u.ac.jp	電気工学	電気エネルギー教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	１名	英語又は日本語ができること
38039	笠井 俊信	kasai@okayama-u.ac.jp	情報工学	情報教育，教育のICT活用	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	１名	講義を理解できる日本語能力，希望する専門分野に関する基礎的知識
38040	野毛 宏文	noge@okayama-u.ac.jp	機械工学	デジタルファブリケーション	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	１名	日本語または英語が話せること
38041	スコット ガードナー	scott@okayama-u.ac.jp	英語コミュニケーション	英語ライティング、異文化コミュニケーション、Bakhtinian Dialogue	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	１名	英語が話せること．インドネシア１名
38042	佐藤 暁	sato2ru@okayama-u.ac.jp	特別支援教育	障害児心理臨床	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	１名	日本語が話せること
38043	大竹 喜久	ohtake@okayama-u.ac.jp	障害児教育	知的障害児教育課程・方法論	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	１名	日本語が話せること
38044	大守 伊織	iori@okayama-u.ac.jp	障害児教育	神経発達の生理・病理	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	１名	英語論文が読める、書ける
38045	吉利 宗久	yositosi@okayama-u.ac.jp	特別支援教育学	障害のある児童生徒のインクルーシブ教育システムに関する法制の分析	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	１名	日本語が話せること
38046	丹治 敬之	tanji@okayama-u.ac.jp	特別支援教育	発達障害児指導法	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	１名	日本語が話せること
38047	宮﨑 善郎	ymiyazaki@okayama-u.ac.jp	障害児教育	視覚障害教育指導法	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	１名	日本語が話せること
38048	西山 修	osam@okayama-u.ac.jp	幼児教育学	日本における保育内容（人間関係，環境）	☑小学校教員 ☑中高教員 ☑その他（幼稚園教諭又は保育士）	日本語	１名	日本語の文献が読めること
38049	片山 美香	kmika@okayama-u.ac.jp	子どもケア	就学前から児童期に至る心理社会的発達支援に関する研究	□小学校教員 □中高教員 ☑その他（幼稚園教諭又は保育士）	日本語	１名	日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
38050	横松 友義	yokoma@okayama-u.ac.jp	幼児教育	幼児教育の研究	□小学校教員 □中高教員 ☑その他（幼稚園教諭又は保育士）	日本語	１名	日本語の文献が読めること
38051	馬場 訓子	nori-baba@okayama-u.ac.jp	幼児教育学	日本における保育内容（健康）	□小学校教員 □中高教員 ☑その他（幼稚園教諭又は保育士）	日本語	１名	日本語の文献が読めること
38052	髙瀬 淳	takase@okayama-u.ac.jp	教育行政学	日本の教育行政・制度について	☑小学校教員 □中高教員 □その他（　）	日本語	１名	日本語の文献が読めること
38053	熊谷 愼之輔	kumagai@okayama-u.ac.jp	生涯学習学	日本の社会教育・生涯学習について	☑小学校教員 □中高教員 □その他（　）	日本語	１名	日本語の文献が読めること
38054	尾島 卓	ojitaku@okayama-u.ac.jp	教育方法学	日本における学校教育実践に関する研究	☑小学校教員 □中高教員 □その他（　）	日本語	１名	日本語の文献が読めること

38055	梶井 一暁	kkajii@okayama-u.ac.jp	教育学	日本を中心とする教育の歴史に関する研究	☑小学校教員 □中高教員 □その他（　）	日本語	１名	日本語の文献が読めること
38056	平田 仁胤	yoshitsugu@okayama-u.ac.jp	教育学	教育に関する哲学的研究	☑小学校教員 □中高教員 □その他（　）	日本語	１名	日本語の文献が読めること
38057	青木 多寿子	aokit@okayama-u.ac.jp	発達心理学	人の人間的成長・発達に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	教育心理学講座全体で１名	日本語または英語が話せること
38058	寺澤 孝文	terasawa@okayama-u.ac.jp	学習心理学	学習・記憶に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		日本語でのコミュニケーション能力が十分な者
38059	三宅 幹子	miyake@okayama-u.ac.jp	発達心理学	仲間関係に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語		日本語または英語が話せること
38060	岡崎 善弘	okazakiys@okayama-u.ac.jp	発達心理学	認知発達に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語		日本語または英語が話せること
38061	三沢 良	misawa-r@okayama-u.ac.jp	対人・社会心理学	集団に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語		日本語または英語が話せること
38062	伊藤 武彦	takehiko@okayama-u.ac.jp	学校保健医科学	学校安全、特に通学区域の安全についての研究、環境側的に基づく熱中症予防に関する研究、学校分析に用いるための通学区域の分析法に関する研究、薬物乱用防止教育に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	養護教育講座全体で１名	日本語が話せること
38063	上村 弘子	kamimu_h@okayama-u.ac.jp	養護実践学	開発途上国における学校保健活動のあり方やわが国の養護実践に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		日本語が話せること
38064	松枝 睦美	matsueda@okayama-u.ac.jp	学校保健医科学	学校救急処置における養護教諭の専門性についての研究と、性にかかわる発達課題や健康問題を保健指導や保健教育にいかすことができるのかについて研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		日本語が話せること
38065	棟方 百熊	munakata@okayama-u.ac.jp	養護実践学	保健教育（健康教育）の内容や方法に関する研究や子どもの健康と生活習慣に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		日本語が話せること
38066	津島 愛子	aiko2013@okayama-u.ac.jp	学校保健医科学	スポーツ医学やスポーツ外傷・障害、運動器検診に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		日本語が話せること
38067	山内 愛	yamauchiai@okayama-u.ac.jp	養護実践学	養護教諭の職務に関連した国際比較研究とわが国の養護実践に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語		日本語または英語が話せること
38068	金川 舞貴子	kanamaki@okayama-u.ac.jp	スクールマネジメント	学校経営、教師教育に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	教職実践講座で１名	日本語の文献が読めること
38069	松田 聡	manyo@okayama-u.ac.jp	日本文学	日本上代文学の研究	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者。 日本の古典文学を原典で読める者。
38070	宮本 浩治	komiyamo@okayama-u.ac.jp	国語教育	教科教育研究（国語科教育）	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
38071	川崎 弘作	k-kawasaki@okayama-u.ac.jp	理科教育	理科学習指導の研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
38072	服部 裕一郎	hattori.yuichiro@okayama-u.ac.jp	数学教育	算数・数学教育における授業設計論	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		日本語が話せること

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☑を付けてください。

広島大学（広島県）

持続可能な社会の実現に向けた教育理論と実践の統合をめざして

◇大学紹介

① 大学の概要

1949年，広島大学は，当時原子爆弾により完全に破壊された広島市に，再生と平和への希望をもって設立された。現在も，長期ビジョンとして「多様性をはぐくむ自由で平和な国際社会の実現」を掲げ，持続可能な開発目標の達成に貢献することを目指している。西日本の教育系大学の代表格としての伝統を持ち，国立大学としては，全国有数規模の学生数を誇る。12の学部と5の大学院等があり，グローバル化，情報化，生涯学習及び国際協力へのニーズに対応した教育・研究が行われている。学部・大学院以外にも，高等教育研究開発センター，平和センター，森戸国際高等教育学院，原爆放射線医科学研究所などのユニークなセンター・研究所群を持つ。市街地を離れた広大な東広島キャンパスは，自然に恵まれ静かに落ち着いて勉学に打ち込める環境にある。

② 国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入実績
2023年度：1,726名　　2022年度：1,638名
2021年度：1,650名

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績
2023年度：12名　　2022年度：8名
2021年度：7名

◇教員研修コースの概要・特色

① 研修コースの特色

人間社会科学研究科・教育科学専攻は，持続可能で平和な世界の構築を目指して，その基盤となる国内外の教育に関わる研究，実践及び人材育成に貢献する。教師教育デザイン学プログラム，教育学プログラムでは，教育諸科学を基盤として幼児教育，初等教育，中等教育，特別支援教育，高等教育のリーダーとなる教師，教師教育者，教育研究者を育ててきた。また，国際教育開発プログラムでは，特にアジア，アフリカ，中南米諸国における教育開発人材の育成に大きく貢献してきた。本教員研修留学生については，開始以来125名を受け入れた。人間や社会の持続的発展や平和の実現の観点から，新しい教育的価値や知識を創造する人材を育てていく。

② 受入定員：30名

③ 奨学金支給期間：2024年10月～2026年3月

④ 研修コースの概要・修了要件

・日本語教育

最初の6カ月（10月～3月）に森戸国際高等教育学院で初級レベル週30時間の日本語予備教育を履修する。主指導教員が認める限りにおいて，この半年間の日本語教育を省いて直接に専門教育の1年半コース（必要に応じて中・上級レベルの「日本語・日本事情」）に入ることが認められる場合がある。

・専門教育

専門的教育期の1年間（4月～3月）に，大学院の留学生と同様に指導教員による個別指導をうけて，各自の研修課題について深く研究する。指導教員によって異なるが、研究や講義・演習の聴講等により週10時間以上の学修時間が必要である。研修の終わりに「研修修了報告書」を提出する。

・実習・見学・地域交流等

学校訪問や各交流会，歴史探訪旅行等の企画が行われている。

◇修了生へのフォローアップ

広島大学には，15か国・地域に23の海外拠点がある。また，教員研修留学生も含め，卒業・修了した留学生の同窓生ネットワーク組織として，9か国・地域で海外校友会が組織されている。今後，海外拠点と海外校友会，企業や関係機関は連携して，新たなプラットフォームを形成していく。その第一弾モデルとして，2022年に「広島大学校友会インドネシア・チャプター」が設立された。

教員研修留学生は，修了後も主指導教員と連絡を取り合い，母国で高度な専門的能力をもつ教育者として活躍している。

※ 海外拠点：中国(北京・上海・重慶・長春・秦皇島)，台湾，韓国，モンゴル，インドネシア(ジャカルタ・バンドン)，ベトナム，ミャンマー，カンボジア，ロシア，ドイツ(ミュンスター，ザールラント)，リトアニア，メキシコ(メキシコシティ・グアナファト)，ブラジル，ケニア，エジプト(カイロ・ガララ)

※ 海外校友会：中国（北京・上海・大連），台湾，韓国，インドネシア(ジャカルタ・バンドン・スラバヤ・マカッサル)，ベトナム，ミャンマー，カンボジア，マレーシア，ブラジル

◇宿　舎

日本語教育期の半年間は，国際交流会館（広島大学の留学生用宿舎）に入居できる。専門教育期間は，広島大学生協が管理する留学生アパートや，公的宿舎，民間アパートなどの選択肢がある。宿舎入居の申込みは，渡日前（7月頃）にオンラインフォームまたはEメールで行う。

なお，奨学金支給までの生活費，宿舎入居のための資金として，少なくとも10万円程度を用意しておくことが望ましい。

広島大学の留学生用宿舎(日本語教育期間のみ)

「国際交流会館（単身室）」

○ 宿舎数：60室
○ 宿舎費：家賃5,900円/月，共益費2,500円/月
○ 宿舎設備・備品：勉強机・椅子・ベッド・洋服ダンス・冷蔵庫・ユニットバス
○ 通学時間：教育学部棟まで徒歩20分，自転車10分
国際教育開発P棟まで徒歩10分，自転車5分
※ 前納する費用はなし。入居後，ゆうちょ銀行に口座を開設し，銀行引き落としで宿舎費や光熱水料を支払う。

※ https://www.hiroshima-u.ac.jp/centers/welfare_facilities/international_house

広島大学生協が管理する留学生用宿舎(専門教育期間)

「広島大学推奨留学生アパート（単身室）」

○ 宿舎数：31施設
○ 宿舎費：家賃17,000～31,000円(共益費込)
＜入居時に必要になる費用＞
・入居月の家賃：日割計算
(20日以降の入居月は支払免除)
・礼金：家賃1ヶ月分（退去時に返金されません）
・敷金：20,000円（退去時に，必要な場合は損害賠償金を精算の上，残金を返金します）
・室内清掃料：10,000円
・保険料：7,940円（1年分の留学生保険）
・生協組合費：2,000円（修了時に全額返金します）
○ 宿舎設備・備品：照明器具，ガスコンロ付き
(一部，冷蔵庫，洗濯機，ベッド，電子レンジ付き)
○ 宿舎周辺の生活情報・通学時間：
教育学部棟，国際教育開発P棟まで自転車10～30分
※ 入居説明会において組合費・保険料を先に現金で支払い，その他の費用は，広島銀行の口座を開設して，振り込みにより支払う。
※ 仲介手数料や事務手数料，保証料，管理料，契約更新料などの諸費用は不要。

※ 写真は一例です。
http://www.hucoop.com/apart/house.html

◇問合せ先

＜担当部署＞

広島大学大学院人間社会科学研究科
教育学系総括支援室（大学院課程担当）

所在地：〒739-8524 広島県東広島市鏡山1丁目1-1
TEL: ＋81-82-424-6720, FAX: ＋81-82-424-7108
E-mail: kyoiku-in@office.hiroshima-u.ac.jp

＜ウェブサイト＞
広島大学　https://www.hiroshima-u.ac.jp/
大学院人間社会科学研究科
https://www.hiroshima-u.ac.jp/gshs

大学名： 広島大学（大学番号39）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	人間社会科学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去５年間の受入国、人数）
39001	山内 規嗣	nyamauc@hiroshima-u.ac.jp	学校教育	学校教育思想史	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1人	
39002	児玉 真樹子	mkodama@hiroshima-u.ac.jp	教育心理	キャリア形成，キャリア教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1人	
39003	中村 和世	knakamur@hiroshima-u.ac.jp	図画工作科教育	図画工作	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・日本語	1人	1（メキシコ）
39004	渡邉 巧	takumiw@hiroshima-u.ac.jp	生活科教育・総合的学習	生活科教育・総合的学習	☑小学校教員 ☑中高教員 ☑その他（幼稚園教諭）	英語・日本語	1人	2（ケニア、ガーナ）
39005	川合 紀宗	nkawai@hiroshima-u.ac.jp	音声言語病理学 特別支援教育， インクルーシブ教育	コミュニケーション障害の臨床・アセスメント法開発・特別支援教育制度	☑小学校教員 ☑中高教員 ☑その他（幼稚園教諭、特別支援学校教員）	英語・日本語	1人または2人	
39006	CHAMBERS DIANNE	chambers@hiroshima-u.ac.jp	特別支援教育 インクルーシブ教育	インクルーシブ教育／インクルージョンのための支援技術	☑小学校教員 ☑中高教員 ☑その他（特別支援学校・特別支援学級教員）	英語	1人	
39007	朝岡 寛史	asaoka@hiroshima-u.ac.jp	特別支援教育 インクルーシブ教育	発達障害・知的障害教育、応用行動分析学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☑その他（幼稚園教諭、特別支援学校教員）	英語・日本語	1人	
39008	氏間 和仁	ujima@hiroshima-u.ac.jp	特別支援教育 インクルーシブ教育	視覚障害教育	□小学校教員 □中高教員 ☑その他（特別支援学校・特別支援学級教員）	英語・日本語	1人	1（フィリピン）
39009	新海 晃	ashinkai@hiroshima-u.ac.jp	特別支援教育 インクルーシブ教育	聴覚障害教育	□小学校教員 □中高教員 ☑その他（特別支援学校・特別支援学級教員）	日本語	1人	
39010	林田 真志	mhyshd@hiroshima-u.ac.jp	特別支援教育 インクルーシブ教育	聴覚障害教育	□小学校教員 □中高教員 ☑その他（特別支援学校・特別支援学級教員）	英語・日本語	1人	1（ジンバブエ）
39011	船橋 篤彦	afunaba@hiroshima-u.ac.jp	特別支援教育 インクルーシブ教育	肢体不自由教育	□小学校教員 □中高教員 ☑その他（特別支援学校・特別支援学級教員）	英語・日本語	1人	
39012	大森 万理子	momori@hiroshima-u.ac.jp	特別支援教育 インクルーシブ教育	特別支援教育の歴史、教育史	☑小学校教員 ☑中高教員 ☑その他（幼稚園教諭、特別支援学校教員）	英語・日本語	1人	

39013	森 まゆ	morimayu@hiroshima-u.ac.jp	特別支援教育 インクルーシブ教育	視覚障害教育	□小学校教員 □中高教員 ☑その他（特別支援学校・特別支援学級教員）	英語・日本語	1人	
39014	村上 理絵	mrkm0625@hiroshima-u.ac.jp	特別支援教育 インクルーシブ教育	発達障害教育	☑小学校教員 ☑中高教員 ☑その他（幼稚園教諭、特別支援学校教員）	日本語	1人	
39015	古賀 信吉	nkoga@hiroshima-u.ac.jp	化学教育	化学教材の開発	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語	1人	
39016	磯﨑 哲夫	isozaki@hiroshima-u.ac.jp	理科教育	理科教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・日本語	1人	1（フィリピン）
39017	竹下 俊治	stakesh@hiroshima-u.ac.jp	生物教育	生物教材の開発	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・日本語	1人	
39018	富川　光	tomikawa@hiroshima-u.ac.jp	生物学	生物教材の開発	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・日本語	1人	1（マラウイ）
39019	松浦 拓也	takuyam@hiroshima-u.ac.jp	理科教育	理科教育方法学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・日本語	1人	1（ナイジェリア）
39020	梅田 貴士	tumeda@hiroshima-u.ac.jp	物理教育	物理教材の開発	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・日本語	1人	1（フィリピン）
39021	三好 美織	miorim@hiroshima-u.ac.jp	理科教育	科学教育カリキュラム研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・日本語	1人	1（ソロモン）
39022	小山 正孝	mkoyama@hiroshima-u.ac.jp	数学教育	数学教育方法	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・日本語	1人	1（ナイジェリア）
39023	寺垣内 政一	teragai@hiroshima-u.ac.jp	幾何教育	幾何内容	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語	1人	
39024	池畠 良	ikehatar@hiroshima-u.ac.jp	解析教育	基礎解析学	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・日本語	1人	
39025	影山 和也	kkageya@hiroshima-u.ac.jp	数学教育	数学教育	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・日本語	1人	
39026	北臺 如法	nyoho@hiroshima-u.ac.jp	代数教育	代数内容教育・代数学数学教材開発・計算機支援数学	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・日本語	1人	
39027	渡辺 健次	wtnbk@hiroshima-u.ac.jp	情報学	ICT教育・情報ネットワーク基礎・応用	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語・英語	1人	1（ミャンマー）
39028	川田 和男	kawada@hiroshima-u.ac.jp	技術教育、工業教育	メカトロニクス教育、ものづくり教育、技能評価	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1人	
39029	木村 彰孝	aakimura@hiroshima-u.ac.jp	技術教育	木材加工教育、木材と人の関わりを科学する	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1人	
39030	鈴木 裕之	hiro-suzuki@hiroshima-u.ac.jp	技術教育	金属加工、機械材料学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語・英語・西語	1人	
39031	草原 和博	kusahara@hiroshima-u.ac.jp	社会科教育	地理・歴史のカリキュラムと指導法、教師教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・日本語	1人	
39032	川口 広美	hkawaguchi@hiroshima-u.ac.jp	社会科教育	社会認識教育学、シティズンシップ教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語・英語	1人	4（フィリピン、ガーナ、マラウイ、エストニア）

39033	熊原 康博	kumakuma@hiroshima-u.ac.jp	自然地理学	自然地理学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語・英語	1人	
39034	Russell Sarwar Kabir	kabir@hiroshima-u.ac.jp	教育心理学	学習者の自己効力感と動機付け，異文化間コミュニケーション	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語	1人または2人	2（ナイジェリア、ウガンダ）
39035	上田 毅	tueda@hiroshima-u.ac.jp	体育科教育	スポーツ生理学	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1人	
39036	出口 達也	deguchi@hiroshima-u.ac.jp	体育科教育	コーチング学	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1人	
39037	齊藤 一彦	saitoh@hiroshima-u.ac.jp	体育科教育	スポーツ教育学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語・英語	1人	
39038	黒坂 志穂	shihok@hiroshima-u.ac.jp	体育科教育	舞踊教育学	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1人	
39039	小木曽 航平	kogisok@hiroshima-u.ac.jp	体育科教育	スポーツ社会学	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語・英語	1人	
39040	柳岡 拓磨	yanaoka@hiroshima-u.ac.jp	体育科教育	スポーツ・コンディショニング学	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語・英語	1人	
39041	村上 かおり	murakao@hiroshima-u.ac.jp	人間生活教育学	被服学	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1人	
39042	松原 主典	kmatsuba@hiroshima-u.ac.jp	人間生活教育学	食品化学・栄養学	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語・英語	1人	1（ナイジェリア）
39043	冨永 美穂子	mtomi@hiroshima-u.ac.jp	人間生活教育学	調理科学	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語・英語	1人	
39044	髙旗 健次	kent-violin@hiroshima-u.ac.jp	器楽	ヴァイオリン演奏法	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1人	
39045	徳永 崇	t-tokunaga@hiroshima-u.ac.jp	作曲	現代音楽の作曲	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1人	
39046	伊藤 真	itoshin@hiroshima-u.ac.jp	音楽教育学	音楽科教育法	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1人	
39047	大野内 愛	oonouchi@hiroshima-u.ac.jp	音楽教育学・声楽	音楽科教育法 発声法 演奏法	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1人	
39048	多賀谷 祐輔	ytagaya@hiroshima-u.ac.jp	器楽	ピアノ演奏法、伴奏法	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1人	
39049	三根 和浪	kmine@hiroshima-u.ac.jp	美術教育学	美術科教育法	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1人	
39050	蜂谷 昌之	mhachiya@hiroshima-u.ac.jp	美術教育	美術教育	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1人	
39051	仁科 陽江	ynishina@hiroshima-u.ac.jp	言語学	対照言語学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語・独語・英語	1人	
39052	柳澤 浩哉	yanagisa@hiroshima-u.ac.jp	日本語表現・修辞学	日本語表現、修辞学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1人	JLPT N1程度の日本語能力を条件とする。
39053	永田 良太	ryota@hiroshima-u.ac.jp	社会言語学	談話分析	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1人	JLPT N1程度の日本語能力を条件とする。

39054	渡部 倫子	tomokow@hiroshima-u.ac.jp	日本語教育学	日本語教育学、言語評価	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1人	
39055	中山 亜紀子	anakayam@hiroshima-u.ac.jp	日本語教育学	質的研究、日本語教育学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語・英語・韓国語	1人	JLPT N1程度の日本語能力を条件とする。
39056	小口 悠紀子	koguchiy@hiroshima-u.ac.jp	日本語教育学	日本語教育学、日本語教授法	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1人	JLPT N1程度の日本語能力を条件とする。
39057	西村 大志	hnishi@hiroshima-u.ac.jp	文化社会学・日本文化	近・現代日本の文化社会学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1人	JLPT N1程度の日本語能力を条件とする。
39058	丸山 恭司	yasumaru@hiroshima-u.ac.jp	教育哲学、教育倫理学	道徳教育、専門職倫理	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・日本語	1人	1（インド）
39059	山田 浩之	yam@hiroshima-u.ac.jp	教育社会学	教育社会学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1人	
39060	小川 佳万	yogawa@hiroshima-u.ac.jp	比較国際教育学	アジアの教育改革	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・中国語・日本語	1人	
39061	中坪 史典	nakatsub@hiroshima-u.ac.jp	幼児教育学	幼児教育学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☑その他（幼稚園教諭）	英語・日本語	1人	3（メキシコ、ジンバブエ、ナイジェリア）
39062	三時 眞貴子	msan@hiroshima-u.ac.jp	西洋教育史	西洋教育史	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・日本語	1人	
39063	滝沢 潤	takizawa@hiroshima-u.ac.jp	教育行財政学	教育行政、教育制度	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・日本語	1人	
39064	恒松 直美	ntsunema@hiroshima-u.ac.jp	比較国際教育学	国際教育・異文化間教育・ジェンダー理論	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・日本語	1人または2人	英語能力・日本語能力の証明書＆インタビュー
39065	桑山 尚司	kuwayama@hiroshima-u.ac.jp	国際教育	国際教育協力，留学・国際交流	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・日本語	1人または2人	1（カンボジア）
39066	Tinka Delakorda Kawashima	tinka-delakorda@hiroshima-u.ac.jp	社会学	文化的・宗教的多様性と教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語	1人または2人	
39067	寺内 大輔	terauchi@hiroshima-u.ac.jp	音楽科教育	音楽づくり，創作，音楽教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・日本語	1人	
39068	髙橋 均	takahi@hiroshima-u.ac.jp	教育心理学	社会的スキル	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	日本語	1人	
39069	馬場 卓也	takuba@hiroshima-u.ac.jp	数学教育	数学教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・日本語	1人	2（フィリピン、バングラデシュ）
39070	三輪 千明	cmiwa@hiroshima-u.ac.jp	幼児教育・保育	幼児教育・保育	☑小学校教員 □中高教員 ☑その他（幼稚園教諭）	英語・日本語	1人	2（ナイジェリア、ジンバブエ）
39071	牧 貴愛	maki@hiroshima-u.ac.jp	教職開発	教師教育、教育制度	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・日本語	1人または2人	2（アルゼンチン、ボツワナ）
39072	谷口　京子	tanikyo@hiroshima-u.ac.jp	教育学	教育開発計画、教育政策	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・日本語	1人または2人	1（マラウイ）
39073	清水　欽也	kinyas@hiroshima-u.ac.jp	科学教育	開発途上国の理科教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（ ）	英語・日本語	1人または2人	1（マラウイ）

39074	佐藤　暢治	nsato@hiroshima-u.ac.jp	言語学	日本語学、モンゴル語学	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語・モンゴル語	1人	JLPT N1程度の日本語能力を条件とする。

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☑を付けてください。

鳴門教育大学（徳島県）

国立大学法人
鳴門教育大学

本学は学校現場とのつながりも強く，教員や児童・生徒との交流のチャンスもあります。
共通科目「日本の教育と文化」を設定し，指導教員により個別指導が行われる他，大学院の授業を聴講できます。

◇大学紹介

〇大学の概要
　本学は，社会的要請に基づき，主として現職教員に高度の研究・研鑽の機会を確保する大学院と，初等教育教員及び中学校教員の養成を行う学部を持ち，学校教育に関する理論的・実践的な教育研究を進める「教員のための大学」及び学校教育の推進に寄与する「開かれた大学」として１９８１年１０月１日に創設されました。
　大学院学校教育研究科「修士課程」では，多様化する学校現場の教育課題の解決･改善に関して，専門的な立場から支援できる人材を育成すること，「専門職学位課程」では，教員の資質能力の総合的な育成により，教科･教職の両領域における確かな専門性と実践力を有する教員を養成することを目的としています。

・地域の特色
　本学が所在する鳴門市は，日本の南西，四国の東部徳島県東北部に位置し，本学のキャンパスは鳴門市の中心部から北へ約４kmの位置にあり，紺碧の海と緑の丘陵に囲まれた勉学にいそしむ場として最適の環境の地です。
　また，日本の古都京都，日本第２の経済都市大阪に近く，西日本の海外の玄関，関西国際空港から約２時間の地にあり，生活を営む地域として最適です。

・学生数（2023年10月1日現在）
　学部　441人，大学院　544人

〇国際交流の実績（2023年10月1日現在）
・協定締結校　　13校
・留学生数　104人
・教員研修留学生受入実績（専門研修）
　2021年度 7人，2022年度 6人，2023年度 5人

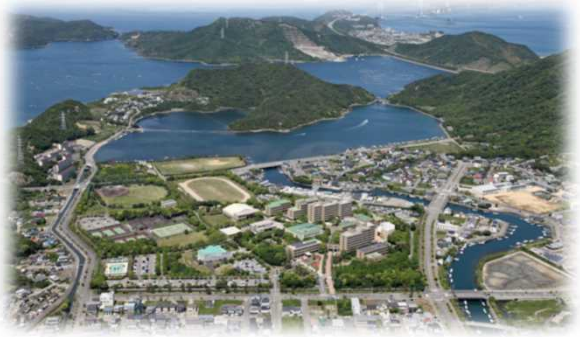
◇教員研修コースの概要・特色

〇コースの特色
　専門家から教育事情についての最新情報を得るため，また，日本の教育制度，文化について理解を深めるために，教員研修留学生を対象に共通科目「日本の教育と文化」を設定しています。
　この科目では，教育史，教育制度を学ぶ他，附属学校（園）の研究授業の見学などを行います。
　また，指導教員により，一人一人の研修目的に応じた個別指導が行われる他，大学院の授業を聴講できます。

〇受入定員　　８　人

〇奨学金支給期間
　2024年10月～2026年3月

〇コースの修了要件
・日本語研修コース（徳島大学）の修了
　座学での講義・学外での課外活動を含めた合計約300時間のコースです。以下が，参考ウェブページです。
　https://www.isc.tokushima-u.ac.jp/03_educational_support/03_jpn_intensive/
・教員研修留学生研修論文報告書の提出及び成果発表
　指導教員によって異なりますが，週約600分の講義・演習・研修に関する指導等を受けます。
・その他，指導教員の指示に従い，関連授業の聴講等



〇研修コースの概要

・日本語教育
　日本語研修コース
　　徳島大学で６か月の日本語集中コースの教育を受講します。

　日本語補講
　　徳島大学での日本語研修コース修了後も，引き続き日本語能力を高めるため，レベル別の日本語補講が受講できます。

　日本語関連の大学院授業
　　大学院の日本語Ⅰ，日本語Ⅱ，日本語Ⅲ，日本語Ⅳ，日本事情・日本文化等を聴講できます。

・専門教育
　日本の教育と文化
　　日本の学校制度，教育課程，教科書行政，教員養成及び教育実習等に関する講義が受講できます。

　大学院授業の聴講・個別指導
　　研究に関連する授業が聴講できます。

・見学・地域交流等の参加型科目
　　小学校訪問や学外研修等に参加できます。

・その他
　行事等への参加
　　日本文化体験等の地域特有の体験活動に参加できます。

〇学外研修

〇日本文化体験

◇修了生へのフォローアップ

帰国後のネットワーク作りを目的とし，本学修了生に対しメールマガジンを配信しています。

◇宿　舎

学生の勉学のための生活環境を提供するため，大学キャンパスの北西に学生宿舎が設置されています。

教員研修留学生は，宿舎への入居が可能です。

〇宿舎数

区分	室数	宿舎料
単身棟（男）　10 ㎡	160室	4,300円
単身棟（女）　10 ㎡	240室	4,300円
世帯棟　40 ㎡	40室	9,500円
世帯棟　52 ㎡	40室	11,900円

（注）寄宿料は月額（2023年4月1日現在）です。
共益費，光熱費が別途必要です。

〇宿舎設備・備品

机，イス，衣類収納ロッカー，ベッドと収納庫，照明器具，テレビ配線があります。

〇宿舎周辺の生活情報、通学時間

学生宿舎は，講義を行う建物まで徒歩約10分と，とても近くに位置しています。宿舎の周辺には，コンビニや内科，歯科医院があります。その他，デイキャンプ場やテニスコートなどスポーツ施設が充実した「鳴門ウチノ海総合公園」もあります。

鳴門の市街地に行くと，大型ショッピングセンターがあり，日常の品物はそこで揃えることができます。また，温泉施設や鳴門の海の幸を揃えた飲食店もあります。

◇問合せ先

大学所在地　徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748

担当部署　教務部学生課国際交流室国際交流係
連絡先　TEL：+81-88-687-6111
FAX：+81-88-687-6044
E-mail：kokusai@naruto-u.ac.jp

ウェブページ http://www.naruto-u.ac.jp/iso/

留学生サポートページ

https://www.naruto-u.ac.jp/iso/international/

マスコットキャラクター「なる★ワン」

大学名： 鳴門教育大学（大学番号40）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	学校教育研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
40001	今田 雄三	yimada@naruto-u.ac.jp	教育相談・臨床心理	教育相談と思春期精神医学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語	１人	同じ専門分野であること、日本語でカウンセリングが可能な者
40002	葛西 真記子	mkasai@naruto-u.ac.jp	教育相談・臨床心理	教育相談と臨床心理学 ジェンダーとセクシャリティ	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語		
40003	吉井 健治	kyoshii@naruto-u.ac.jp	教育相談・臨床心理	教育相談と臨床心理学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語		
40004	小倉 正義	mogura@naruto-u.ac.jp	教育相談・臨床心理	教育相談・臨床心理学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語		
40005	久米 禎子	tkume@naruto-u.ac.jp	教育相談・臨床心理	教育相談と臨床心理学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語		
40006	川西 智也	tkawanishi@naruto-u.ac.jp	教育相談・臨床心理	教育相談と臨床心理学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語		
40007	古川 洋和	hfurukawa@naruto-u.ac.jp	臨床心理学	臨床疫学と臨床心理学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語		
40008	廣瀬 雄一	yhirose@naruto-u.ac.jp	教育相談・臨床心理	教育相談と臨床心理学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語		
40009	坂東 伸泰	nbando@naruto-u.ac.jp	教育相談・臨床心理	教育相談と臨床心理学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語		
40010	内田 香奈子	k.uchida@naruto-u.ac.jp	心理教育科学	予防教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語	１人	
40011	小澤 大成	hiroaki@naruto-u.ac.jp	地球科学・理科教育	初中等の理科教育・教員研修・地質学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	英語	１人	
40012	武田 清	takeda@naruto-u.ac.jp	物理化学・理科教育	化学・化学物理学，化学教育・物理教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	英語・日本語	１人	研究を遂行するのに十分な英語もしくは日本語能力
40013	石坂 広樹	hishizaka@naruto-u.ac.jp	数学教育・教育行政・国際教育	算数数学教育・教育行政・国際教育・統計学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	英語・フランス語・スペイン語・ポルトガル語	１人	ホンジュラス（1,2020年），コロンビア（1,2021年）
40014	石村 雅雄	maishim@naruto-u.ac.jp	教師教育・教育政策	日本や諸外国の教師教育・教育政策に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	英語又はフランス語	１人	ガーナ（1,2019年），モロッコ(1,2022年), モロッコ(1,2023年)
40015	ジェラード マーシェソ	gerard@naruto-u.ac.jp	英語科教育	小学校英語教育カリキュラム開発	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	英語および日本語	１人	フィリピン（1,2020年），ガーナ(1,2023)
40016	鎌田 スザーン・リン	skamata@naruto-u.ac.jp	英語科教育	小学校英語教育カリキュラム，ライティング	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	英語	１人	英語能力　フィリピン（1,2019年，1,2021年）， ラトビア（1,2021年），モンゴル(1,2022年), フィリピン（1,2023年）
40017	日下 智志	skusaka@naruto-u.ac.jp	数学教育・教育調査	数学教育・国際教育・教育内容開発	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	英語・フランス語・スペイン語	1人	モザンビーク(1,2022年)，ソロモン(1,2022), ガーナ(1,2023)
40018	岡崎 渉	okazakiw@naruto-u.ac.jp	日本語・日本語教育	日本語教育	☑小学校教員 ☑中高教員 ☑その他（日本語教育機関教員）	日本語	１人	受入分野と同じ専門分野であり，日本語教師経験のあること。 日本語文献読解力を有すること。 インドネシア（1，2019年）
40019	余郷 裕次	gsxr1100@naruto-u.ac.jp	国語教育	国語科教育学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語	１人	
40020	原 卓志	tkhara@naruto-u.ac.jp	日本語学	国語学，国語史	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語	１人	
40021	幾田 伸司	s.ikuta@naruto-u.ac.jp	国語教育	国語科授業論、国語科教材論	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語	１人	
40022	平川 恵実子	ehirakawa@naruto-u.ac.jp	日本文学	日本古典文学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語	１人	
40023	構 大樹	dkamae@naruto-u.ac.jp	日本文学	日本近代文学・文化	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語	１人	

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☑を付けてください。

大学名： 鳴門教育大学(大学番号40)

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	学校教育研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
40024	薮下 克彦	yabuchan@naruto-u.ac.jp	英語学	理論言語学（形式意味論）	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）	英語および日本語	１人	
40025	山森 直人	yamamori@naruto-u.ac.jp	英語教育学	外国語としての英語教育（TEFL）	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）	英語および日本語		
40026	千菊 基司	msengiku@naruto-u.ac.jp	英語教育学	EFLにおけるTBLTのあり方	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）	英語および日本語		
40027	木口 圭子	kkiguchi@naruto-u.ac.jp	英語文学	イギリス詩	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）	英語および日本語		
40028	森山 倭成	kmoriyama@naruto-u.ac.jp	英語学	統語論，生成文法	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）	英語および日本語		
40029	青葉 暢子	aoba@naruto-u.ac.jp	経済学	経済学，保険理論，金融論，財政学，公共経済学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）	日本語	２人	研究に必要な日本語能力を有していること。過去5年間受け入れ実績は0。
40030	立岡 裕士	tatuoka@naruto-u.ac.jp	人文地理学	人文地理学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）			研究に必要な日本語能力を有していること。過去5年間受け入れ実績は0。
40031	原田 昌博	mharada@naruto-u.ac.jp	西洋史	ドイツ現代史	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）			研究に必要な日本語能力を有していること。過去5年間受け入れ実績は0。
40032	伊藤 直之	naoyuki@naruto-u.ac.jp	社会科教育学	社会科教育学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）			研究に必要な日本語能力を有していること。過去5年間受け入れ実績は0。
40033	井上 奈穂	ninoue@naruto-u.ac.jp	社会科教育学	社会科教育学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）			研究に必要な日本語能力を有していること。過去5年間受け入れ実績は0。
40034	畠山 輝雄	thatakeyama@naruto-u.ac.jp	人文地理学	人文地理学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）			研究に必要な日本語能力を有していること。過去5年間受け入れ実績は0。
40035	町田 哲	machida@naruto-u.ac.jp	日本史	日本近世史	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）			研究に必要な日本語能力を有していること。過去5年間受け入れ実績は0。
40036	眞野 豊	ymano@naruto-u.ac.jp	社会学	ジェンダー、セクシュアリティ、差別問題	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）			研究に必要な日本語能力を有していること。過去5年間受け入れ実績は0。
40037	秋田 美代	akitam@naruto-u.ac.jp	数学教育学	指導方法及び評価論，教材論	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）	英語および日本語	１人	フィリピン（1,2019年 1,2021）
40038	早田 透	thayata@naruto-u.ac.jp	数学教育学	教授学的状況の設計論	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）	英語および日本語	１人	ガーナ（1,2019年），ウガンダ（1,2020年）， フィリピン(1,2022)
40039	山中 仁	hyamanaka@naruto-u.ac.jp	幾何学	Lie群作用のトポロジー，GKM理論	☐小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）	英語および日本語	１人	
40040	伊藤 陽介	ito@naruto-u.ac.jp	情報	情報	☐小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）	英語	２人	
40041	宮下 晃一	miyasita@naruto-u.ac.jp	機械	機械	☐小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）			
40042	米延 仁志	yn@naruto-u.ac.jp	木材加工	木材加工	☐小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）			
40043	曽根 直人	naosone@naruto-u.ac.jp	情報	情報	☐小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）			
40044	宮本 賢治	kmiyamot@naruto-u.ac.jp	電気	電気	☐小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）			
40045	阪東 哲也	tebando@naruto-u.ac.jp	教育情報学	教育情報学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）			
40046	美井野 優	ymiino@naruto-u.ac.jp	情報	情報	☐小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　　）			

※「研修の対象者」は該当する方(両方に該当する場合は両方)に☑を付けてください。

大学名： 鳴門教育大学（大学番号40）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	学校教育研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
40047	金 貞均	kim@naruto-u.ac.jp	住居学	住様式及び居住システム，住教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	英語、韓国語	１人	
40048	西川 和孝	nishikw@naruto-u.ac.jp	食物学	食教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語および英語	１人	
40049	福井 典代	fukui@naruto-u.ac.jp	被服学	衣生活教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語および英語	１人	
40050	坂本 有芳	ysakamoto@naruto-u.ac.jp	消費生活科学	生活経営・消費者教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語および英語	１人	
40051	速水 多佳子	thayami@naruto-u.ac.jp	家庭科教育	家庭科教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語および英語	１人	マラウイ(1,2021年)，ガーナ(1,2023年)
40052	小野瀬 裕子	honose@naruto-u.ac.jp	家庭経営	家族関係学・保育学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語および英語	1人	
40053	鉄口 真理子	mtetsuguchi@naruto-u.ac.jp	音楽教育学	日本の音楽科教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語	１人	日本語文献読解力を有すること。
40054	山田 啓明	hyamada@naruto-u.ac.jp	指揮	指揮法及びアンサンブル指導の研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	ドイツ語および日本語	１人	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語文献読解力を有すること。
40055	家﨑 萌	miezaki@naruto-u.ac.jp	美術教育	美術科教育、美術教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語および英語	１人	
40056	武内 優記	yutakeuchi@naruto-u.ac.jp	彫刻	彫刻	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語	１人	
40057	南 隆尚	minami@naruto-u.ac.jp	健康・スポーツ系教育	健康・スポーツ系教育	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	英語及び日本語	1人	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語文献読解力を有すること。
40058	湯口 雅史	myuguchi@naruto-u.ac.jp	健康・スポーツ系教育	体育（保健体育）科教育	☑小学校教員 □中高教員 □その他（　　）	英語及び日本語		
40059	金野 誠志	skanou@naruto-u.ac.jp	人間科学	教育実践学，文化理解教育，道徳教育実践	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語	２人（状況に応じて変更する場合がある）	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語文献読解力を有すること。
40060	谷村 千絵	tanimura@naruto-u.ac.jp	人間科学	教育哲学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語		
40061	田村 和之	ktamura@naruto-u.ac.jp	環境教育	環境教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	英語および日本語		
40062	小倉 正義	mogura@naruto-u.ac.jp	特別支援教育	特別支援教育・発達支援	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語	１人	受け入れ人数は、コースコード40004と合わせて1人
40063	高橋 眞琴	mtakahashi@naruto-u.ac.jp	人間発達科学	日本と諸外国のインクルーシブ教育政策の研究	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　　）	日本語	１人	

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☑を付けてください。

香川大学 （香川県）

本学の教員研修コースは、各専攻において留学生の関心に基づいた個別指導を中心としたプログラムを用意している

◇大学紹介

①大学の概要

香川大学は1949年に設置され、2003年10月にそれまでの香川大学と香川医科大学が統合して新しい香川大学となった。

教育学部、法学部、経済学部、医学部、創造工学部、農学部の6つの学部があり、修士課程は、創発科学研究科（教育学、法学、経済学、工学的分野を含む）、医学系研究科（看護学）、農学研究科を、博士課程は、創発科学研究科、医学系研究科（医学・看護学）、連合農学研究科を、また、専門職学位課程は教育学研究科、地域マネジメント研究科を有している。

②国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2023年度：169人

2022年度：153人

2020年度：138人

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2023年度：1人

2022年度：0人

2021年度：0人

◇教員研修コースの概要・特色

①研修コースの特色

本学大学院教育学研究科では、留学生の関心に基づいた個別指導を中心としたプログラムを用意している。教育学研究科には、現職の教員が多く在籍しており、実際の教育現場について知ることもできる。

②受入定員　3名

③奨学金支給期間

2024年10月～2026年3月

④コースの修了要件

指導教員の個別指導のもとで設定したテーマを研究し、レポートを作成する。

⑤研修コースの概要

・日本語教育

（最初の6ヶ月：2024年10月～2025年3月）

文部科学省が指定する日本語研修コースで、当該学生のレベルに応じて、半年間の日本語及び日本事情教育を提供する（次のいずれか）。

日本語初級　週12回程度 /

日本語中級　週12回程度 /

日本語上級　週12回程度

・専門教育

形態:指導教員による個別指導

留学生の専攻分野に関する大学院の授業、又は学部の授業への参加

・実習・見学・地域交流等の参加型科目

1. 附属学校や協力校である公立小中高等学校での授業参加や研究発表会への参観
2. 休日にキャンパスを開放し地域の幼児・児童・生徒を大学に招き学習や研究活動を体験してもらう行事への参加活動

◇修了生へのフォローアップ

いくつかの国や地域に関しては、すでに帰国留学生ネットワークが形成されている

◇宿　舎

香川大学留学生会館

〇宿舎数

・単身用　32室

〇宿舎費

月額 7,400円（光熱水料等は別途負担）

〇宿舎設備・備品

共　同 ： キッチン、洗濯機、シャワー室等

居室内 ： ベッド、机椅子、書棚、冷蔵庫、タンス、トイレ、流し台、エアコン、Wi-Fi

〇宿舎周辺の生活情報、通学時間

宿舎から教育学部キャンパスまで

-自転車で40分、-電車と徒歩で35分

香川大学花園寮（月額22,500円）への入居も可能。空室がない場合は、キャンパス周辺の民間アパート（月3万円程度）を大学生協等を通じて紹介する。

◇問合せ先

〒760-8521 香川県高松市幸町1-1

香川大学 教育・学生支援部 国際課

TEL：+81-87-832-1149

FAX：+81-87-832-1192

E-MAIL：ryugaku-h@kagawa-u.ac.jp

URL：https://www.kagawa-u.ac.jp/

大学名： 香川大学（大学番号41）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
41001	平 篤志 教授	taira.atsushi@kagawa-u.ac.jp	人文地理学 地域研究	人文地理学的研究・地域研究	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1人	専攻分野の基礎を学習していること 受入実績（マラウィ共和国：２名）
41002	笹屋 孝允 准教授	sasaya.takayoshi@kagawa-u.ac.jp	高度教職実践	小中学校教育全般，授業研究，教師教育，日本語	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1人	専攻分野の基礎を学習していること
41003	高橋 尚志 教授	takahashi.naoshi@kagawa-u.ac.jp	物性物理学 理科教育 科学教育	表面物性研究、物理教育研究	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1人	専攻分野の基礎を学習していること 受入実績（ブータン王国：１名）
41004	高木 由美子 教授	takagi.yumiko@kagawa-u.ac.jp	化学	有機化学・化学教育に関すること	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	英語・日本語	1人	英文で報告書の作成ができること、過去５年間はなし

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☑を付けてください。

愛媛大学（愛媛県）

専門教育・日本語教育・日々の生活支援　愛媛大学は全てサポートします

◇大学紹介

〇大学の概要

・愛媛大学は，法文学，教育学，社会共創学，理学，医学，工学，農学の７学部と大学院がある総合大学で，学生数は約10,000人である。

・附属の幼稚園，小学校，中学校，高校，特別支援学校があり，これらの学校での授業に外国人留学生が参加する機会も多い。

・本学のある愛媛県松山市は日本の他の都市と比べて物価が安く暮らしやすい地域である。交通手段は自転車で十分であり，大学から市中心部へも自転車で５分以内で行くことができる。

〇国際交流の実績（2023年10月1日現在）

	2023年度	2022年度	2021年度
留学生数	217	204	223
教員研修留学生受入数	0	4	2

◇教員研修コースの概要・特色

本研修コースの特徴は，日常生活で最低限必要な日本語表現と生活習慣を，専門教育・日本語集中コース開始前に修得できるよう設計されている点である。また，日本語の授業では，地域住民による支援体制が整っている。

〇受入定員：5名

〇奨学金支給期間：2024年10月～2026年3月

〇コースの修了要件

指導教員によって異なるが、概ね600時間の授業・演習・論文指導を受け、研究報告書を提出することが修了要件となる。

〇研修コースの概要

・日本語教育

a)サバイバルコース：　入学直後２週間，日常生活に最低限必要な日本語表現と生活習慣を学ぶことができる。

b)オリエンテーション：　入学直後に２日間実施され，学生生活で不可欠な情報が提供される。続いて行われるウェルカムパーティーでは，日本人学生も含め多くの学生と知り合うことができる。

c)予備教育コース：　日本語及び日本文化・日本事情の講義を1学期間集中的に実施する。「Studies on Japanese culture」など英語で行われる授業も用意されている。

d)通常コース：上記のコース受講後，引き続き学習できる様々なクラスを開講している。

・専門教育

a)半年間の日本語予備教育コースの後，それぞれの専門分野に応じ，学部の専門教育を受けることができる。専門教育は，教員のアドバイスにより学習計画を立て，それをもとに必要な指導を指導教員から受けることになる。

b)学習計画：研修生の希望に沿って立てることができる。研究分野によっては，フィールドワークや実験･調査･授業観察にも参加できる。研修の終わりには研究報告書の提出が必要。

・見学・地域交流等の参加型科目

実地見学旅行：日本の歴史や文化に触れる機会として，県内外への研修旅行が実施される。

◇修了生へのフォローアップ

研修終了後も、担当教員がメールやWeb会議システムを通じて指導する。

◇宿　舎

大学所有の宿舎がありますが、入居希望者が多い場合は入居できません。その場合は、愛媛大学生協を通じてキャンパス周辺の民間アパート（初期費用約２０万円）を紹介します。

大学所有の宿舎　※渡日前に宿舎料を前納する必要はありません。

	御幸学生宿舎	国際交流会館
室数	単身用　約70室	単身用　30室 世帯用　4室
月額費用	約22,000円	約13,000円 （世帯用25,000円）
設備備品	風呂，トイレ，机，椅子，ベッド，エアコン，IH調理器，冷蔵庫（建物内にコインランドリー，売店）	風呂，トイレ，机，椅子，ベッド，エアコン，ガスコンロ，オーブンレンジ，冷蔵庫，洗濯機
通学時間	自転車で10～15分	自転車で30～40分

◇問合せ先

所在地　〒790-8577 愛媛県松山市文京町３

担当部署　国際連携支援部国際連携課

TEL: +81-089-927-9157

E-mail　kokuryu@stu.ehime-u.ac.jp

HP　http://web.isc.ehime-u.ac.jp/

シラバス　https://campus.ehime-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx?

大学名： 愛媛大学（大学番号42）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学部							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
42001	清田 朗裕	kiyota.akihiro.rb@ehime-u.ac.jp	日本語学、国語教育学	文法、語彙、教科書の言語事項	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	2人	日本語能力試験N1もしくはN2。
42002	鴛原 進	oshihara.susumu.mj@ehime-u.ac.jp	社会科教育	社会科グローバル学習	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	2人	日本語又は英語でコミュニケーションがとれること。 マラウイ2名
42003	安部 利之	abe.toshiyuki.mz@ehime-u.ac.jp	数学教育	代数学に関する教材研究	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1人	高校数学程度の基礎力があること。 過去5年間 0名
42004	隅田 学	sumida.manabu.mm@ehime-u.ac.jp	科学教育、才能教育、STEM教育、国際教育協力	カリキュラム開発、学校との共同研究、教材開発	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	3人	特になし。 ナイジェリア2名、ガーナ1名、メキシコ1名

受入研究科等名	理学部							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
42005	松浦 真也	matsuura.masaya.mx@ehime-u.ac.jp	応用数学	データ解析, 数理曲線を用いたプロダクトデザイン	☐小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1人	語学能力：英語能力または日本語能力
42006	山崎 義徳	yamasaki.yoshinori.mh@ehime-u.ac.jp	数学	数論（初等整数論，解析数論）	☐小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1人	語学能力：英語能力または日本語能力
42007	宮田 竜彦	miyata.tatsuhiko.mf@ehime-u.ac.jp	物理化学・生物物理	液体の統計力学理論・分子シミュレーション	☐小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1人	語学能力：英語能力または日本語能力 受入実績は１名（英国）
42008	杉浦 美羽	miwa.sugiura@ehime-u.ac.jp	生物物理学、生化学	光生物およびそのタンパク質の生化学的、物理化学的性質の解析	☐小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語、フランス語	1人	語学能力：英語能力、日本語能力または、フランス語能力、受入実績は５名（フランス,韓国）
42009	座古 保	zako.tamotsu.us@ehime-u.ac.jp	生体分析化学、蛋白質科学	ナノ分析化学およびタンパク質の機能解析	☐小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1人	語学能力：日本語能力、英語能力、受入実績は１名（スイス）
42010	岩田久人	iwata.hisato.mz@ehime-u.ac.jp	環境毒性学	環境汚染物質による生物への影響評価	☐小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1人	語学能力：日本語能力または英語能力　化学・生物学に関する基礎的な知識を有していること。

受入研究科等名	医学部

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
42011	北澤 荘平	kitazawa@m.ehime-u.ac.jp	診断病理学	大学病院での一般的な診断病理学の実践	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他(　)	英語・日本語	1人	台湾・ベトナム・タイ・インドネシア・ミャンマー・マレーシアとの交流経験あり。上記からの留学希望
42012	藥師神 芳洋	yoshiyak@m.ehime-u.ac.jp	腫瘍内科学 緩和医療	実際の患者の治療に際し、副主治医として診療行為を行う	☐小学校教員 ☐中高教員 ☑その他(医学生)	英語・日本語	1人	3～6ヶ月程度の短期受入が希望。英語が話せる事が必須。中国・カナダからの短期の受け入れ経験あり。
42013	日浅 陽一	hiasa@m.ehime-ac.jp	肝臓内科学	肝細胞癌、慢性肝障害および肝免疫	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他(　)	英語・日本語	1人	英語が話せ書けること
42014	三宅 吉博	epi-prev@m.ehime-u.ac.jp	疫学	疫学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他(　)	日本語	1人	

受入研究科等名	工学部

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
42015	野村 信福	shin_nomu@eng.ehime-u.ac.jp	熱流体工学	伝熱工学基礎	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他(　)	日本語、英語	2人	英語能力または日本語能力
42016	豊田 洋通	toyota@eng.ehime-u.ac.jp	特殊加工学	プラズマプロセスの基礎	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他(　)	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42017	柴田 論	shibata.satoru.mg@ehime-u.ac.jp	福祉工学・ヒューマンロボットインタフェース	ヒューマンロボットインタフェース、感性工学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他(　)	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力、C言語に関するプログラミング能力が必要
42018	岡本 伸吾	okamoto.shingo.mh@ehime-u.ac.jp	ロボット・知能システム学，振動・制御，計算力学	ロボット・知能システム学，振動・制御，計算力学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他(　)	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42019	保田　和則	yasuda.kazunori.mb@ehime-u.ac.jp	流体工学・医用流体工学	非ニュートン流体や血液の流れ解析	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他(　)	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42020	李 在勲	lee.jaehoon.mc@ehime-u.ac.jp	ロボット工学、人工知能工学	ロボティクス、メカトロニクス、人工知能	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他(　)	日本語、英語、韓国語	2人	英語能力、日本語能力または韓国語能力
42021	岡本 好弘	okamoto.yoshihiro.mj@ehime-u.ac.jp	情報ストレージ	情報ストレージの信号処理	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他(　)	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42022	神野 雅文	jinno.masafumi.mh@ehime-u.ac.jp	プラズマ科学・照明科学	プラズマの制御・計測・診断、照明光源開発	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他(　)	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42023	岡村 未対	okamura@cee.ehime-u.ac.jp	地盤工学	地盤工学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他(　)	日本語、英語	2人	英語能力または日本語能力

42024	氏家 勲	iujike@cee.ehime-u.ac.jp	コンクリート工学	コンクリート工学の基礎	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42025	吉井 稔雄	yoshii@cee.ehime-u.ac.jp	交通工学	交通工学・交通計画	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42026	森脇 亮	moriwaki@cee.ehime-u.ac.jp	水文学・気象学	都市気象，流域水文学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42027	渡辺 幸三	watanabe_kozo@cee.ehime-u.ac.jp	保全生態工学	淡水域のフィールド調査，分子生物学実験	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1人	英語能力
42028	武部 博倫	takebe.hiromichi.mk@ehime-u.ac.jp	非鉄製錬とリサイクル	無機材料工学，非鉄製錬学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42029	小林 千悟	kobayashi.sengo.me@ehime-u.ac.jp	生体材料学	生体・医療用の金属材料の基礎	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42030	朝日 剛	asahi.tsuyoshi.mh@ehime-u.ac.jp	光化学	光機能性有機材料の光物理と光化学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42031	高井 和幸	takai.kazuyuki.mz@ehime-u.ac.jp	合成生物学	合成生物学の基礎	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42032	高橋 寛	takahasi@cs.ehime-u.ac.jp	情報工学	ディペンダブルコンピューティング	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1人	条件は英語能力、受入れ実績は１名（イエメン）
42033	小林 真也	kob@cs.ehime-u.ac.jp	情報工学	分散処理，並列処理	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42034	井門 俊	ido@cs.ehime-u.ac.jp	画像処理・バーチャルリアリティ	画像処理の研修・バーチャルリアリティの研修	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力、初歩的なプログラミング能力が必要
42035	中原 真也	nakahara.masaya.mf@ehime-u.ac.jp	水素エネルギーシステム	燃焼工学の基礎	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力

受入研究科等名	農学部							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
42036	大上 博基	oue.hiroki.mh@ehime-u.ac.jp	農業環境工学	灌漑排水学，農業気象学，農林水文学	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42037	都築 勇人	tsuzuki.hayato.mu@ehime-u.ac.jp	森林科学	森林計測学、森林計画学	□小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力

福岡教育大学 （福岡県）

日本の教員養成制度、学校教育等について幅広い専門領域から学ぶ

◇大学紹介

①大学の概要

本学は、学校教員の養成を主目的にした九州地区唯一の国立教員養成系大学である。 教育学だけでなく文学、法学、経済、外国語、理学、工学、芸術、体育等の幅広い専門領域の研究者を擁する大学である。

大学が所在する宗像市は福岡市と北九州市のほぼ中間に位置し、北九州都市圏と福岡都市圏のベッドタウンとして発展し、豊かな自然環境に囲まれている。また、歴史的には、朝鮮半島に近いことから古より大陸との交流窓口として発展してきた。

自然に囲まれ、歴史に深くつながる地域に位置する大学として、その特性を教育に取り入れる工夫を行っている。

②国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2023年度： 8名

2022年度： 7名

2021年度： 8名

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2023年度：0名

2022年度：1名

2021年度：0名

◇教員研修コースの概要・特色

①研修コースの特色

これまで諸外国からの教員研修留学生を多数受け入れてきたが、今後も教育を通して「アジアにおける教育研究の拠点」としての役割を果たし、諸外国との交流を推進していくことを目指している。

②受入定員

１名

③奨学金支給期間

2024年10月～2026年3月

④コースの修了要件

所定の期間在学し、研修計画により必要な研究指導を受け、教員研修留学生研修報告書を学長に提出し、修了が認められること。また、本学が提供する留学生対象授業を概ね30単位受講することが必要である。

⑤研修コースの概要

・日本語教育（日本語能力（JLPTで N4 ）以上対象授業）

「日本語」全5科目、「日本語補講」全5科目

（※非漢字圏の留学生のための漢字コースあり。）

・専門教育【1年コース、1年半コース共通】

個別指導及び通常講義の聴講、初等・中等諸学校等の実地見学や、講義及びセミナー形式の演習を行う。

・見学・地域交流等の参加型科目

地域の行事に参加したり、日本文化研修のため旅行をするといった様々な機会がある。

◇修了生へのフォローアップ

修了後、留学生から相談のある際は個別に対応している。

◇宿　舎

〇宿舎数

・単身用：男子寮　3部屋、女子寮　7部屋

・夫婦用：なし

・世帯用：なし

〇宿舎費

・22,000円程度（月額）

〇宿舎設備・備品

・ベッド、机、椅子

〇宿舎周辺の生活情報、通学時間

・男子寮：バス15分

・女子寮：徒歩5分

※施設と設備は古いが、寮生たちとのコミュニケーションの中で日本語を上達させることができる。

※民間のアパートを借りることもできる。

※宿舎、民間アパート共に入国前に料金を払う必要はない。

◇問合せ先

〒811-4192

福岡県宗像市赤間文教町1番1号

福岡教育大学連携推進課

TEL：＋81-940-35-1556

FAX：＋81-940-35-1700

E-mail：ryugak01@fukuoka-du.ac.jp

https://www.fukuoka-edu.ac.jp/

大学名： 福岡教育大学（大学番号44）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科　教職実践専攻							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
44001	青山　之典	yaoyama@fukuoka-edu.ac.jp	国語科教育	読むことの指導	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	国語科教育（読むことの指導）に関する教養をもち、実践経験があること
44002	牛島　玲	ushijima-r@fukuoka-edu.ac.jp	特別支援教育	特別支援学級、通級による指導	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		日本語でのコミュニケーション力，特別支援教育を中心とした学校教育の経験、過去の受け入れ実数0名
44003	大竹　晋吾	ohtakedu@fukuoka-edu.ac.jp	学校経営	スクールリーダー教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		英語は会話等は十分では無いかもしれません。文章等は対応可能です。日本語能力試験N5程度の能力があれば受入れます。過去5年間の受入れ実績はありません。
44004	鬼木　務	oniki-t@fukuoka-edu.ac.jp	算数教育	問題解決的な学習指導	☑小学校教員 □中高教員 □その他（　）	日本語		算数科教育に関する教養
44005	中山　健	tnakayam@fukuoka-edu.ac.jp	特別支援教育	発達障害児の心理と教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		特別支援教育および発達障害児に関する基礎知識。受け入れ実績なし。
44006	西野　秀昭	hideakin@fukuoka-edu.ac.jp	理科教育	理科教材の課題発見と工夫･改善･開発及び授業への効果的な活用方法	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語･英語		条件：日本語か英語でコミュニケーションできる、理科教育に関わる教員や学生、受け入れ実績は無し。
44007	西山　久子	hisakon@fukuoka-edu.ac.jp	学校臨床心理学	スクール・カウンセリング及び体制づくり	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		日本語でのコミュニケーション力，専門的能力、過去の受け入れ実数0名
44008	本多　壮太郎	shonda@fukuoka-edu.ac.jp	体育科教育	体育科教育学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語及び英語		体育科教育学の学位
44009	若木　常佳	wakaki@fukuoka-edu.ac.jp	教師教育　国語科教育	リフレクション・対話指導	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		教師教育や対話指導についての実践があること
44010	有元　康一	arimoto-k@fukuoka-edu.ac.jp	算数・数学科教育	算数・数学科教材開発（教材開発に関連する教科内容を含む）	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		算数･数学科教育および数学（教科内容）に関する基礎的な素養
44011	兼安　章子	kaneyasu-a@fukuoka.edu.jp	教職・家政教育	教師教育研究、家庭科教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		
44012	坂井　清隆	sakai-k@fukuoka-edu.ac.jp	教育方法学特に社会科教育	質的研究　授業分析　社会科教育実践分析	☑小学校教員 □中高教員 □その他（　）	日本語		教育方法学及び社会科教育に関する基礎的な知識の獲得
44013	山田　洋平	yamada-y@fukuoka-edu.ac.jp	教育心理学	子どもの社会性の育成	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		教育心理学に関する教養

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☑を付けてください。

長崎大学 （長崎県）

学校教育現場で必要とされる知識・技能獲得の為の研修を行います。

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

長崎大学は、多文化社会学部、教育学部、経済学部、医学部、歯学部、薬学部、情報データ科学部、工学部、環境科学部、水産学部を持つ総合大学であり、7つの大学院（多文化社会学研究科、教育学研究科、経済学研究科、工学研究科、水産・環境科学総合研究科、医歯薬学総合研究科、熱帯医学・グローバルヘルス研究科）と2つの研究所（熱帯医学研究所、原爆後障害医療研究所）プラネタリーヘルス学環を有する 教員数約1,248人、学生数約9,090人の国立大学法人である。

長崎大学は、長崎に根付く伝統的な文化を継承しつつ、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的発展に貢献することを理念としている。

② 国際交流の実績

長崎大学は海外の252の大学と交流協定を締結しており、2023年5月1日現在578人の留学生が、それぞれの所属する学部、研究科等の組織の中で勉学、研究に励んでいる。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び教員研修留学生（教研生）の受入れ実績

2023年：留学生数578人、教研生2人
2022年：留学生数481人、教研生2人
2021年：留学生数422人、教研生0人
※2020年は新型コロナウイルス感染症の影響により来日できず受入れなし。

④ 地域の特色

本学がある長崎市は九州の西端に位置し、青く澄んだ海と緑豊かな山々に囲まれ、気候も温暖な都市である。長崎港は、200年間に及ぶ日本の鎖国時代にあってもアジア、西欧との交易のために日本で唯一開かれていた。長崎市民はこのような国際交流の伝統を受け継いで開放的で人情味豊かであり、留学生にも非常に好意的である。

■教員研修コースの概要・特色

① 教育学部の概要

教育学部には国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語、教育、教育心理、特別支援教育、幼児教育の各専門分野の教員（約80人）が配置されている。また、附属の小学校、中学校、特別支援学校、幼稚園もあり、留学生が学校教育の現場を見学することも出来る。

② 研修コースの特色

教育学部の全ての教職員の協力の下、「国際交流委員会」が設置され、教員研修留学生の研修を有意義に進めるための体制を整え、努力している。留学生のための交流パーティーや研修旅行を実施し、修学・生活上の悩みなどについても気軽に相談を受けるなど、和やかな雰囲気で留学生の受入れを行っている。

③ 受入定員　5人

④ 奨学金支給期間　2024.10～2026.3

⑤ 研修・年間スケジュール

9月下旬：渡日（2023年は9月19日～21日）
国際学生交流会

10月：　後期履修オリエンテーション
後期授業開始
雲仙・島原バス旅行

11月：　平和学習バスハイク
防火訓練
長崎大学学園祭

2月：　後期授業終了

4月-8月：前期授業

9月-2月：後期授業

3月下旬：帰国

⑥　コースの修了要件

教員研修留学生としての留学期間終了までに論文を完成すること。学修時間約1575時間。

⑦　研修コースの概要

1）日本語教育

留学生教育・支援センターが開講する日本語集中プログラムで研修生として6ヶ月間、週10時間の日本語教育を受ける。日本語レベルに応じて初級・中級のいずれかのクラスに配置する。

2）専門教育

教員研修留学生の希望する専門研究分野に対応して、教育学部の教員（1人~複数人）が指導教員となる。留学生は、1年間に亘って指導教員の下で各種のゼミナールや講義を受ける。また、研修期間の最後に研修成果を示したレポート（日本語または英語）を作成し、発表する。

3）見学・地域交流等の参加型科目

県下の小学校、中学校等に出向き、子供たちに出身国の生活習慣や文化等について説明する。これにより日本の教育現場に直接触れるとともに、子供たちとの交流を通して相互理解を深める事業を行う。

4）その他

日本語教育に日本文化の授業が含まれており、日本舞踊、華道や茶道など日本の伝統文化を学び体験することが出来る。

・平和学習バスハイク

長崎県下の新規渡日留学生を参加対象とした終日のイベント。被爆者による講話を聞く機会を設け平和公園、原爆資料館、長崎歴史文化博物館を回るなど平和について学習する。

・雲仙・島原バス旅行

長崎の雲仙、小浜、島原の特色ある自然や歴史遺産等の見学を行う。

■宿　舎

長崎大学には、国際交流会館（西町本館・A棟・B棟）坂本分館、国際学寮ホルテンシア（A棟・B棟）の留学生用宿舎が設置されている。但し、数に限りがあるため、希望者全員が入居できないこともある。その場合は、民間アパートを借りる。留学生向けの居室数等は下記のとおりである。（2023年10月1日現在）

① 宿舎数

・単身室　　64室
・2人シェア　　12室
・4人シェア　　117室

② 宿舎費（1人あたり/半期）

・単身室　￥123,000　￥132,000　￥198,000
・2人シェア　￥138,000
・4人シェア　￥180,000

※2023年10月時点。今後変更になる可能性があります。

③ 宿舎設備・備品

エアコン・ベッド・机・椅子・洋服ダンス・電気スタンド・冷蔵庫・シャワー・トイレ・洗濯室（共用/専有）・補食室（共用/専有）

④ 宿舎周辺の生活情報、通学時間

国際交流会館および国際学寮ホルテンシアは、文教キャンパス（メインキャンパス）から徒歩で15分程度の距離に位置している。閑静な住宅街に立地し、付近には公務員宿舎も併設されている。国際交流会館坂本分館は本学附属病院の敷地内に設置されており、医学部及び歯学部へは徒歩で数分の距離にある。付近には商店街があり、生活必需品等がいつでも購入できる。文教キャンパスまでは、路面電車を利用して20分程度である。

■修了生へのフォローアップ

学術研究等の相談があった時は、メールやSNS等でいつでも応じる体制を取っている。

■問合せ先

＜担当部署＞
長崎大学学生支援部留学支援課

住所：　〒852-8521
　　長崎県長崎市文教町1-14

TEL：　+81-95-819-2209（直通）
FAX：　+81-95-819-2125
Email：　ryugaku_shien@ml.nagasaki-u.ac.jp
＜ウェブサイト＞
長崎大学留学生教育・支援センター：
　https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/
長崎大学：
　http://www.nagasaki-u.ac.jp

大学名： 長崎大学（大学番号46）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
46001	鈴木 慶子 （教授）	keiko-s@nagasaki-u.ac.jp	国語教育	書写書道	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	
46002	前田 桂子 （教授）	kmaeda@nagasaki-u.ac.jp	国語教育	国語学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	
46003	平瀬 正賢 （准教授）	masa-i@nagasaki-u.ac.jp	国語教育	国語教育	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	
46004	大平 晃久 （准教授）	ohirat@nagasaki-u.ac.jp	人文地理学	文化・社会地理学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	
46005	池谷 和子 （准教授）	kazuikeya@nagasaki-u.ac.jp	法律	未成年者保護法	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	
46006	田口 由香 （准教授）	y.taguchi@nagasaki-u.ac.jp	日本史	日本近代史	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	
46007	中村 千秋 （准教授）	sonny@i.edu.nagasaki-u.ac.jp	情報システム	教育用コンピュータシステムの構築	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	英語による指導可。受入実績：ガーナ１名
46008	倉田 伸 （准教授）	shin1222kurata@nagasaki-u.ac.jp	情報教育	情報教育	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	
46009	大庭 伸也 （准教授）	ooba@nagasaki-u.ac.jp	動物学	動物学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	英語による指導可。
46010	福山 隆雄 （准教授）	fukuyama-takao@nagasaki-u.ac	物理学	プラズマ科学	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	英語による指導可。
46011	三上 次郎 （教授）	mikami@nagasaki-u.ac.jp	作曲	和声学の研究	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語、英語	1	英語による指導可。
46012	宮下 茂 （教授）	miyamo@nagasaki-u.ac.jp	声楽	声楽	☐小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	
46013	加納 暁子 （准教授）	k-akiko@nagasaki-u.ac.jp	ヴァイオリン、音楽教育	ヴァイオリンの演奏法、音楽教育	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	
46014	西田 治 （准教授）	osamu-n@nagasaki-u.ac.jp	音楽教育	音楽教育の研究	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	
46015	中川 泰 （教授）	nakagawa@nagasaki-u.ac.jp	美術教育	美術教育	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	
46016	菅野 弘之 （教授）	kankan@nagasaki-u.ac.jp	美術教育	陶芸	☑小学校教員 ☑中高教員 ☐その他（　）	日本語	1	

46017	牧野　一穂(准教授)	kmakino@nagasaki-u.ac.jp	美術教育	絵画（日本画）	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他(　)	日本語	1	日本語能力を有すること。
46018	高橋　浩二（准教授）	takahashi@nagasaki-u.ac.jp	体育・スポーツ哲学	身体及び運動実践の哲学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他(　)	日本語、英語	1	英語による指導可。
46019	藤本　登（教授）	n-fuji@nagasaki-u.ac.jp	環境技術・機械工学とその教育	環境教育、技術教育（機械）について	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他(　)	日本語	1	
46020	武藤　浩二（教授）	cosy@nagasaki-u.ac.jp	電気電子情報工学及びその教育	回路理論，アナログ電子回路	□小学校教員 ☑中高教員 □その他(　)	日本語、英語	1	英語による指導可。
46021	及川　大地（准教授）	daichioi@nagasaki-u.ac.jp	食物学	食品学,栄養学,食品機能学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他(　)	日本語、英語	1	英語による指導可。
46022	松元　浩一（教授）	kmat@nagasaki-u.ac.jp	英語学	統語論	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他(　)	日本語、英語	1	英語による指導可。
46023	鈴木　保巳（教授）	ys11@nagasaki-u.ac.jp	障害児生理心理学	障害児生理心理学	□小学校教員 □中高教員 □その他(　)	日本語	1	特別支援
46024	小西　祐馬（准教授）	konishi@nagasaki-u.ac.jp	児童福祉	児童福祉	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他(　)			
46025	吉田　ゆり（教授）	yuyoshida@nagasaki-u.ac.jp	発達臨床心理学	発達臨床心理学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他(　)			
46026	森野　美央（准教授）	morinomi@nagasaki-u.ac.jp	発達心理学	発達心理学、乳幼児保育	☑小学校教員 □中高教員 □その他(　)			小学校低学年まで
46027	石川　衣紀（准教授）	izumi@nagasaki-u.ac.jp	特別支援教育、特別ニーズ教育	特別支援教育学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他(　)			
46028	高橋　甲介（准教授）	kosuket@nagasaki-u.ac.jp	障害児心理学	応用行動分析学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他(　)			
46029	内野　成美（教授）	soudan@nagasaki-u.ac.jp	学校臨床心理学	学校臨床心理学，カウンセリング	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他(　)	日本語	1	受入実績：韓国１名
46030	前原　由喜夫(准教授)	ymaehara@nagasaki-u.ac.jp	認知心理学	認知心理学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他(　)	日本語	1	受入実績：韓国１名
46031	榎　景子(准教授)	enoki@nagasaki-u.ac.jp	教育行政学，教育制度論	教育行政学，教育制度論	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他(　)	日本語	1	
46032	井手　弘人（准教授）	hirotoi@nagasaki-u.ac.jp	比較教育学、カリキュラム論	統合カリキュラムの比較研究、教師教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他(　)	日本語、英語	1	英語による指導可。受入実績：ブルキナファソ１名

熊本大学 （熊本県）

本学の教員研修プログラムは日本の教育諸相について基礎知識及び専門知識を得ることを目的としています。

◇大学紹介

①大学の概要

熊本大学は、旧制第五高等学校・熊本医科大学等の旧制諸学校を母体として、1949年5月に発足した国立の総合大学です。現在、本学には8学部・8大学院1研究科が設置されており、学部・大学院学生数計約10,000人、教職員数約2,700人を有しています。

8学部：文学部、教育学部、法学部、理学部、医学部、薬学部、工学部、情報融合学環

8大学院：社会文化科学教育部、
人文社会科学系研究部、
自然科学教育部、先端科学研究部、
生命科学研究部、医学教育部、
薬学教育部、保健学教育部、

1研究科：教育学研究科

教員研修留学生の受入れ先となる教育学研究科には、教職大学院の課程（教職実践開発）が設置されています。本研究科は、大学卒業者だけでなく、現職教員も受入れており、教員の資質向上を目的として教育実践に関する総合的な研究をおこなっています。

②国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2023年度：45カ国475人

2022年度：39カ国413人

2021年度：34カ国374人

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2023年度：1人（ウズベキスタン）

2022年度：2人（ジンバブエ、ベナン）

2021年度：1人（インドネシア）

◇教員研修コースの概要・特色

①研修コースの特色

本学の教員研修プログラムは、以下分野における日本の教育諸相について基礎的及び専門的知識を得ることを目的としています。本学教育学部では、小・中学校教諭に必要な国語科教育、社会科教育、数学科教育、理科教育、音楽科教育、美術科教育、保健体育科教育、技術科教育、家庭科教育、英語科教育、特別支援教育、学校教育（教育学・心理学）について、また養護教諭に必要な養護教育について、それぞれ専門教育をおこなっています。

②受入定員

計17名

③奨学金支給期間

2024年10月～2026年3月（1年半）

④コースの修了要件

指導教員によって異なるが、指導教員と相談の上で、授業科目の講義・演習・論文指導を受講することが必要である。

⑤研修コースの概要

・日本語教育

期間：2024年10月～2025年3月（半年間）

内容：日本での日常生活に必要な日本語および入学後の研究活動に必要となる基礎的な日本語の学習をおこないます。

形態：学生のレベルに併せて日本語クラス（週10時間以上）が用意されています。

・専門教育

期間：2025年4月～2026年3月（1年間）

形態：教育学研究科にて、主に指導教員による個別指導を受けます。また、大学院生や学部生と一緒に講義や演習に参加し、各自の研究課題をさらに深めます。学年末には、研究成果を発表します。

（小学生との交流）

・その他

・指導教員による独自の実地見学

・教育現場の見学

・留学生交流パーティーの開催

・見学・地域交流等の参加型科目

◇修了生へのフォローアップ

研修修了後も必要に応じてメール等で相談に応じています。

◇宿　舎

〇宿舎数

・単身用（147室）

・夫婦用（6室）

・世帯用（家族室A：3室、家族室B：4室）

〇宿舎費

単身室：17,000円

夫婦室：26,000円

家族室A：36,000円

家族室B：34,000円

※水道・光熱費は実費です。入居時には預託金が必要です。

〇宿舎設備・備品（単身室の場合）

台所、シャワー・トイレ、エアコン、ベッド、 冷蔵庫、電磁調理器、机、椅子、靴箱、 電話機（受信専用）、インターネット(個別契約)

〇宿舎周辺の生活情報、通学時間

キャンパスから東に1.5kmほどのところに、留学生のための寮「熊本大学国際交流会館」があります。教員研修生は、１年半入居が可能です。宿舎から大学まで自転車で10分程度です。

◇問合せ先

大学所在地：〒860-8555熊本市中央区黒髪2-40-1
担当部署：熊本大学国際部国際教育課
TEL：+81-96-342-2103
FAX：+81-96-342-2130
E-mail：gji-ryugaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp
ホームページ：http://www.kumamoto-u.ac.jp/
シラバス掲載アドレス：
http://www.kumamoto-u.ac.jp/kokusaikouryuu/gaikokujinryuugakusei/kyouikuprogram/kyouinkenshu

大学名： 熊本大学（大学番号47）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
47001	藤瀬 泰司 教授	fujise@educ.kumamoto-u.ac.jp	社会科教育	社会科教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	
47002	渡邉 重義 教授	shige@educ.kumamoto-u.ac.jp	理科教育	理科教育、生物教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語、英語	1	ある程度の日本語能力を有していること
47003	飯野 直子 准教授	iino@educ.kumamoto-u.ac.jp	理科教育	理科教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		研究を遂行できるだけの日本語能力を有していること
47004	山﨑 浩隆 教授	yamasaki@educ.kumamoto-u.ac.jp	音楽教育	音楽科教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	
47005	中原 雅彦 准教授	nakahara@educ.kumamoto-u.ac.jp	音楽教育	声楽	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	日本語を理解することができること。イタリア語が読めること。楽譜が読めること。
47006	赤木 恭子 准教授	k.akaki@educ.kumamoto-u.ac.jp	美術教育	美術科教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	
47007	喜久山 悟 教授	mt.kix@educ.kumamoto-u.ac.jp	美術教育	美術科教育、工芸	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		
47008	松永 拓己 教授	matsu@educ.kumamoto-u.ac.jp	美術教育	絵画	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		1（中国）
47009	坂下 玲子 教授	reiko@educ.kumamoto-u.ac.jp	保健体育	体育科教育、ダンス、体操	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	
47010	井福 裕俊 教授	ifuku@kumamoto-u.ac.jp	運動科学	運動生理学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		
47011	大石 康晴 教授	oishi@gpo.kumamoto-u.ac.jp	運動科学	運動生理学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	英語・日本語		
47012	坂本 将基 准教授	sakamoto@educ.kumamoto-u.ac.jp	運動科学	運動生理学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		
47013	末永 祐介 准教授	suenaga@educ.kumamoto-u.ac.jp	保健体育	体育科教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		
47014	八幡 彩子 教授	ayako@educ.kumamoto-u.ac.jp	家政教育	家庭経営学、家政学原論	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	
47015	中迫 由実 准教授	nakasako@educ.kumamoto-u.ac.jp	家政教育	住居学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	研究を遂行できるだけの日本語能力を有していること
47016	島谷 浩 教授	shima@educ.kumamoto-u.ac.jp	英語教育	英語教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	英語・日本語		１（マラウイ）

47017	ピダーソン・スタン 准教授	pederson@educ.kumamoto-u.ac.jp	英語教育	英語教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	英語	1	1（インドネシア）
47018	岡﨑 伸一 准教授	sokazaki@educ.kumamoto-u.ac.jp	英語教育	英語教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	英語・日本語		
47019	菊池 哲平 教授	kikuchi@educ.kumamoto-u.ac.jp	特別支援教育	特別支援教育心理学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	
47020	藤原 志帆 准教授	fujihara@educ.kumamoto-u.ac.jp	特別支援教育	特別支援教育指導学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	
47021	干川 隆 教授	hosikawa@educ.kumamoto-u.ac.jp	特別支援教育	特別支援教育指導学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	
47022	本吉 大介 准教授	motoyoshi@educ.kumamoto-u.ac.jp	特別支援教育	特別支援教育心理学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	
47023	藤井 美保 准教授	fujii@educ.kumamoto-u.ac.jp	教育学	教育社会学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	3	初級程度以上の日本語学習経験を有すること 1（エストニア）
47024	山城 千秋 教授	qianqiu@educ.kumamoto-u.ac.jp	教育学	社会教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		初級程度以上の日本語学習経験を有すること
47025	今井 伸和 准教授	nimai@educ.kumamoto-u.ac.jp	教育学	道徳教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		初級程度以上の日本語学習経験を有すること
47026	苫野 一徳 准教授	ittoku@educ.kumamoto-u.ac.jp	教育学	教育哲学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		初級程度以上の日本語学習経験を有すること
47027	入谷 仁士 准教授	iritanib@educ.kumamoto-u.ac.jp	保健科学	学校保健　保健科教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1	
47028	佐藤 伸子 講師	nobuko@educ.kumamoto-u.ac.jp	看護学	看護学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		
47029	長谷 真　准教授	mhase@educ.kumamoto-u.ac.jp	基礎医学	分子生物学	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語		
47030	稲森 安太己　特任准教授	yinamori@educ.kumamoto-u.ac.jp	音楽教育	作曲　ピアノ	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語・英語・ドイツ語	1	楽譜が読めること。

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☑を付けてください。

宮崎大学 （宮崎県）

指導教員による個別指導のもとに、教員研修留学生の目的に応じ高度で実践的な研修を行う。

◇大学紹介

①大学の概要

宮崎大学は、教育学部、医学部、工学部、農学部、地域資源創成学部の5つの学部と教育学研究科、看護学研究科、工学研究科、農学研究科、地域資源創成学研究科、医学獣医学総合研究科、農学工学総合研究科の7つの大学院研究科で構成されている国立大学法人です。教員研修留学生を受け入れる研究科は教育学研究科であり、概要は次のとおりです。

◇教育学研究科（専門職学位課程）

教職実践開発専攻

②国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2023年度：145人

2022年度：159人

2021年度：158人

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2023年度：1人

2022年度：1人

2021年度：0人

◇教員研修コースの概要・特色

①研修コースの特色

・指導教員による専門領域の個別指導が主であるが、指導教員の指導の下、専門科目や日本語・日本事情の科目の聴講が可能。

・見学・地域交流等の参加型科目の聴講、日本語地域インターンシップへの参加、日本人学生との共修が可能な場合もある。

②受入定員：3人

③奨学金支給期間

2024年10月～2026年3月

④コースの修了要件

研修報告書を下記の要領で執筆し、提出することとする。

記

・内容：本研究科での研修内容。ただし、出願書類に記載された研究テーマに沿うものであること。

・使用言語：日本語または英語

・本文の長さ：A4用紙4ページ以上

・紙媒体（1部）および電子ファイル（メール添付）による提出とする。

・提出先

（紙媒体）：教育学部教務・学生支援係

（電子媒体）：教育学部教務・学生支援係国際交流担当係長（e-kyoumu@of.miyazaki-u.ac.jp）宛

・提出期限：2026年2月末日午後5時

⑤研修コースの概要

教員研修留学生は、渡日後、他機関で6ヶ月間の日本語教育を受けた後、本学で下記の研修を1年間行う。

・指導教員の指導の下、専門領域に関して研修を行う。

・本コースでの研修の成果を研修報告書にまとめ、2026年2月末日午後5時までに提出する。

・指導教員の指導の下、授業担当教員の許可が得られれば、専門領域に関連する科目や日本語・日本事情の科目の聴講が可能。（科目の単位認定はできない。）

・市内の小、中、高における授業見学や児童・生徒との国際交流活動に参加することが可能な場合もある。

◇修了生へのフォローアップ

・SNS等を活用して，継続的に連絡を取っている。
・必要に応じ指導教員が相談に応じる。

◇宿　舎

〇宿舎数

・国際交流宿舎
単 身 室　　165室　月額　4,700円
夫婦・家族室　4室　月額　9,500円・14,200円

・木花ドミトリー
単 身 室　　31室　月額 24,000円
（光熱水費・Wifi込）

・清武ドミトリー
単 身 室　　50室　月額 25,800円
（光熱水費・Wifi込）

〇宿舎設備・備品
各部屋にベッド、机、椅子、クローゼット付き

〇宿舎周辺の生活情報、通学時間
近隣にスーパー、コンビニ、
キャンパス内に宿舎有り。宿舎費前納不要

◇問合せ先

大学所在地：889-2192
宮崎県宮崎市学園木花台西1-1
担当部署：研究国際部国際連携課留学交流係
連絡先
TEL：0985-58-7134　FAX: 0985-58-7782
E-mail：ryugaku@of.miyazaki-u.ac.jp
ホームページアドレス
https://www.miyazaki-u.ac.jp/kokusai/

大学名： 宮崎大学（大学番号：49）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
49001	菅 裕 教授	e05107u@cc.miyazaki-u.ac.jp	音楽教育学	音楽科教育。主に学校での演奏指導に関わる分野。	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 英語	1人	日本語または英語。日本語の読み書きおよび日常会話ができることが望ましい。教員研修留学生の受け入れ実績は無。
49002	山元 宣宏 准教授	n-yamamoto@cc.miyazaki-u.ac.jp	言語・社会文化	漢字を中心とした文字文化史、および書道史	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 中国語	1人	日本語能力試験N1認定以上。研究対象を客観的に論じることができる者。教員研修留学生の受け入れ実績は無。一般の研究生（留学生）の受入実績は有。
49003	椋木 香子 教授	k-mukugi@cc.miyazaki-u.ac.jp	教育学	道徳教育、幼児教育	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 英語	1人	日本語または英語。日本語の日常会話ができることが望ましい。教員研修留学生・一般留学生受入れ実績は有。
49004	中村 佳文 教授	nakabun@cc.miyazaki-u.ac.jp	国語教育日本文	和歌・短歌・音声表現	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語	1人	日本語能力試験N1認定以上。日本語の基礎的運用能力のある者。教員研修留学生の受け入れ実績は無。一般の研究生（留学生）の受入実績は無。
49005	藤井 良宜 教授	yfujii@cc.miyazaki-u.ac.jp	統計科学	日本における統計教育について	☑小学校教員 ☑中高教員 □その他（　）	日本語 英語	1人	日本語能力試験N1認定以上。研究対象を客観的に論じることができる者。教員研修留学生の受け入れ実績は有。

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☑を付けてください。